

平成 22 年 11 月 18 日

平成 22 年度
青森市教育委員会事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価報告書
- 平成 21 年度の実績 -

青森市教育委員会

青市教報告第1号

平成22年11月18日

青森市議会議長 渋谷 勲 様

青森市教育委員会

平成22年度青森市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び
評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定により、平成22年度青森市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書を次のとおり提出する。

目 次 -

1 . 平成 2 1 年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員	1
(2) 教育委員会会議審議案件	1
(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況	4
2 . 教育委員会事務の点検・評価	
(1) 経緯	5
(2) 対象事業	5
(3) 学識経験者の知見の活用	5
(4) 学識経験者	5
(5) 点検・評価方法	5
(6) 平成 2 1 年度の教育施策の体系	6
3 . 点検・評価結果	
政策第 1 節 生きる力を育む教育環境	7
政策第 2 節 生活と地域を豊かにする生涯学習	3 1
政策第 3 節 豊かな感性を磨く文化・芸術	3 8
政策第 4 節 だれもが親しめるスポーツ・レクリエーション	5 2
政策第 5 節 人の輪を広げる地域間交流	6 2
4 . まとめ	6 5

1. 平成21年度教育委員会の活動状況

(1) 教育委員（平成22年11月18日現在）

職名	氏名	任期	就任年月日
委員長	柳谷章二	H20.5.20～H24.5.19	H17.9.22
委員長 職務代行者	鎌田愼也	H21.5.20～H25.5.19	H17.4.1
委員	西村恵美子	H22.5.20～H26.5.19	H18.5.20
委員	平出道雄	H19.5.20～H23.5.19	H19.5.20
委員	土田美貴	H20.4.1～H24.3.31	H20.4.1
教育長	月永良彦	H21.6.1～H25.5.19	H21.6.1

(2) 教育委員会会議審議案件

会議	議案及び報告事項
定例会 4月22日（水） 中央市民センター 3階 中会議室（1）	<p>【議案】</p> <p>議案第18号 青森市教育委員会事務局の組織及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>議案第19号 青森市民図書館協議会委員の任命について</p> <p>議案第20号 平成21年度浪岡地区奨学生の決定に係る意見について</p> <p>議案第21号 臨時に代理し処理した事項の承認について</p> <p>【報告】</p> <p>(1) 寄附採納について</p> <p>(2) 第2回青森市中学生カーリングチャレンジカップの実施報告について</p> <p>(3) 新城小学校屋内運動場改築工事完了について</p>
定例会 5月13日（水） 教育研修センター 4階 第2研修室	<p>【議案】</p> <p>議案第22号 臨時に代理し処理した事項の承認について</p> <p>【報告】</p> <p>(1) 寄附採納について</p> <p>(2) 新城中学校屋内運動場改築工事について</p> <p>(3) 新城小学校屋外体育施設整備工事について</p> <p>(4) 平成21年度全国学力・学習状況調査の実施状況について</p> <p>【組織会】</p> <p>(1) 教育委員長の選挙について</p> <p>(2) 教育委員長職務代行者の指定について</p> <p>(3) 教育長の任命について</p>
臨時会 5月20日（水） 柳川庁舎 2階 応接室	<p>【議案】</p> <p>議案第23号 教育委員の辞職について</p>
臨時会 5月27日（水） 柳川庁舎 5階 教育長室	<p>【議案】</p> <p>議案第24号 臨時に代理し処理した事項の承認について</p> <p>議案第25号 職員（県費負担職員を除く。）の懲戒処分について</p>
臨時会 6月1日（月） 教育研修センター 2階 第1研修室	<p>【組織会】</p> <p>教育長の任命について</p>
定例会 6月5日（金） 教育研修センター 4階 第2研修室	<p>【議案】</p> <p>議案第26号 平成21年度一般会計補正予算について</p> <p>議案第27号 通学区域再編について</p> <p>【報告】</p> <p>(1) 新型インフルエンザの発生に伴う対応について</p>

会 議	議案及び報告事項
臨時会 7月10日(金) 青森市文化会館 会議室	【議案】 議案第28号 教育委員会事務局職員の人事異動について
定例会 7月28日(火) 教育研修センター 4階 第2研修室	【議案】 議案第29号 青森市教育委員会事務の専決等に関する規程の一部を改正する規程の制定について 【報告】 (1) 第2回青森市議会定例会の質問概要について (2) 寄附採納について (3) 瀬戸子グラウンド利用の再開について (4) 金浜小学校の統合に係るアンケート及び要望書について (5) 新型インフルエンザの市内発生に伴う対応について
定例会 8月19日(水) 教育研修センター 4階 第2研修室	【議案】 議案第30号 平成21年度一般会計補正予算について 議案第31号 平成22年度使用中学校教科用図書の新採択について 【報告】 (1) 寄附採納について (2) インフルエンザ感染予防学校対応マニュアルについて
定例会 9月30日(水) 教育研修センター 4階 第2研修室	【議案】 議案第32号 青森市民図書館協議会委員の任命について 議案第33号 臨時に代理し処理した事項の承認について 【報告】 (1) 平成21年第3回市議会定例会の質問概要について (2) 平成20年度包括外部監査結果への対応について (3) 新型インフルエンザの発生状況について (4) 通学する小・中学校の変更手続きの一部変更について (5) 平成21年度全国学力・学習状況調査結果の報告について
定例会 10月26日(月) 教育研修センター 4階 第2研修室	【議案】 議案第34号 通学区域再編について 【報告】 (1) 寄附採納について (2) 台風18号接近に伴う対応について (3) 専決処分等の報告について (4) 平成21年度青森県学校保健・学校安全・学校給食関係表彰について (5) 通学区域再編について (6) インフルエンザ感染状況について (7) 南中学校の物置小屋の火災について
定例会 11月17日(火) 教育研修センター 4階 第2研修室	【議案】 議案第35号 平成21年度12月補正予算について 議案第36号 青森市立小学校条例の一部を改正する条例の制定について 【報告】 (1) 寄附採納について (2) 第4回青森市小学生カーリングチャレンジカップについて (3) 第5回中学生美術展について (4) 「地産地消で学校給食」の実施について (5) 第4回全国学校給食甲子園について (6) 市内中学生による傷害事件について (7) 通学区域再編について
定例会 12月21日(月) 教育研修センター 4階 第2研修室	【議案】 議案第37号 通学区域再編について 【報告】 (1) 平成21年第4回市議会定例会の質問概要について (2) 寄附採納について (3) 平成21年度青森市成人式について (4) 第3回青森市中学生カーリングチャレンジカップについて (5) 第4回青森市小学生カーリングチャレンジカップの実績報告について

会 議	議案及び報告事項
臨時会 1月12日(火) 柳川庁舎 1階 会議室	【議案】 議案第1号 平成22年度全国学力・学習状況調査について
定例会 1月28日(木) 教育研修センター 5階 大研修室	【議案】 議案第2号 教育長の権限に属する事務の一部を学校長に委任する規程の一部を改正する規程の制定について 議案第3号 青森市立小学校及び中学校の就学に関する規則の一部を改正する規則の制定について 【報告】 (1) 第3回青森市中学生カーリングチャレンジカップについて (2) 平成21年度青森市成人式について (3) 第22回棟方志功賞版画展の開催について
定例会 2月15日(月) 教育研修センター 4階 第2研修室	【議案】 議案第4号 平成22年青森市教育施策の方針について 議案第5号 青森市学校施設耐震化基金条例の制定について 議案第6号 青森市立中学校条例の一部を改正する条例の制定について 議案第7号 平成21年度3月補正について 議案第8号 平成22年度当初予算について 議案第9号 県費負担教職員の任免の内申について 【報告】 (1) 寄附採納について (2) 学校ICT環境整備について (3) 青森市立造道小学校校舎等耐震補強工事について (4) 中学校給食センターの灯油もれについて
臨時会 3月5日(金) 柳川庁舎 5階 教育長室	【議案】 議案第10号 教育委員会事務局の人事異動について
定例会 3月25日(木) 教育研修センター 4階 第2研修室	【議案】 議案第11号 青森市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則の制定について 議案第12号 青森市立小学校及び中学校の就学に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第13号 青森市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議案第14号 青森市教育委員会事務局の組織及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第15号 青森市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について 議案第16号 青森市教育委員会事務の専決等に関する規程の一部を改正する規程の制定について 議案第17号 青森市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第18号 青森市文化賞表彰規則の制定について 議案第19号 青森市スポーツ賞表彰規則の制定について 議案第20号 青森市生涯学習推進員設置規則の制定について 議案第21号 青森市市民センター条例施行規則の制定について 議案第22号 青森市中央市民センター処務規則の制定について 議案第23号 青森市視聴覚ライブラリー規則の制定について 議案第24号 青森市文化会館条例施行規則の制定について 議案第25号 青森市文化交流ホール条例施行規則の制定について 議案第26号 青森市合浦亭条例施行規則の制定について 議案第27号 青森市民美術展示館条例施行規則の制定について 議案第28号 青森市体育施設条例施行規則の制定について 議案第29号 青森市森の広場条例施行規則の制定について 議案第30号 臨時に代理し処理した事項の承認について 【報告】 (1) 平成22年度教育委員会事務局の組織について (2) 平成22年第1回市議会定例会の質問概要について (3) 青森市学校事務共同実施準備委員会について (4) 小学校給食施設の整備について

(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況

月	活動内容
平成21年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月 8日 青森市小・中学校校長会 ・ 4月 9日 東青管内小・中学校校長会 ・ 4月10日 東青管内小・中学校教頭会 ・ 4月15日 市町村教育委員会教育長会議 ・ 4月16日 全国市町村教育委員会連合会理事会 ・ 4月16日 青森県都市教育長協議会 ・ 4月28日 青森県市町村教育委員会連絡協議会理事会・教育長代表者会議
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月 8日 青森市青少年育成市民会議総会 ・ 5月 9日 青森市PTA連合会総会 ・ 5月12日 青森県市町村教育委員会連絡協議会教育長会定期総会 ・ 5月15日 青森県小学校長会総会 ・ 5月19日 青森県小中学校教頭会定期総会 ・ 5月20日 東青地区教科用図書採択協議会 ・ 5月20日 青森市小・中学校校長会臨時会 ・ 5月22日 青森県市町村教育委員会連絡協議会定時総会 ・ 5月25日 青森市子どもを犯罪から守る学校支援協議会
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月 5日 青森市中学校校長会 ・ 6月 9日 県教育長への青森県市町村教育委員会連絡協議会要望書提出 ・ 6月 9日 学校訪問(幸畑小学校) ・ 6月12日 学校訪問(浪打小学校、浪打中学校)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月 3日 全国市町村教育委員会連合会理事会 ・ 7月 7日 青森市小学校校長会 ・ 7月 9日 東北六県市町村教育委員会連合会総会 ・ 7月10日 東北六県市町村教育委員会連合会研修会 ・ 7月15日 暴力追放青森市民会議定時総会 ・ 7月15日 学校訪問(浪岡北小学校) ・ 7月17日 学校訪問(三内西小学校、三内中学校) ・ 7月27日 東青地区教科用図書採択協議会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月2～7日 青森ねぶた祭 ・ 8月11日 青森市献血推進協議会総会 ・ 8月27日 青森市社会福祉大会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月26日 青森市総合防災訓練
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月 2日 青森県知的障害教育研究大会青森大会 ・ 10月 7日 青森県都市教育長協議会臨時会 ・ 10月10日 青森県立平内高等学校創立30周年記念式典 ・ 10月14日 青森市小学校連合音楽会 ・ 10月16日 学校訪問(高田中学校、荒川中学校) ・ 10月17日 青森市立南中学校創立40周年記念式典 ・ 10月18日 青森市立甲田中学校創立50周年記念式典 ・ 10月19日 青森市小学校長会 ・ 10月19日 縄文遺跡群世界遺産登録推進本部会議 ・ 10月20日 学校訪問(橋本小学校、良町小学校) ・ 10月23日 学校訪問(金浜小学校、荒川小学校) ・ 10月23日 青森市立浦町中学校創立50周年祝賀会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月 1日 青森県立北斗高等学校通信制創立10周年記念式典 ・ 11月 2日 青森県言語障害児教育研究大会 ・ 11月 6日 東北地区国語教育研究協議会 ・ 11月 9日 子どもを犯罪から守る学校支援協議会 ・ 11月10日 東北地区小中学校教頭会研究大会青森大会 ・ 11月11日 市町村教育委員会委員長・教育長合同会議 ・ 11月13日 青森市青少年育成市民会議 ・ 11月17日 学校訪問(古川小学校) ・ 11月28日 青森市立大野小学校創立30周年記念式典
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月15日 青森県スポーツ振興審議会 ・ 12月17日 東青管内市町村教育委員会教育長会議
平成22年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1月 8日 青森市小学校長会 ・ 1月10日 青森市成人式 ・ 1月13日 中核市教育長会研修会 ・ 1月28日 施設視察(中学校給食センター) ・ 1月28日 学校訪問(沖館中学校)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2月 2日 青森市PTA連合会、校長会との意見交換会 ・ 2月 6日 棟方志功賞版画展 ・ 2月11日 全国高等学校カーリング選手権大会 ・ 2月17日 東青地区教科用図書採択委員会 ・ 2月20日 青森市立金浜小学校閉校式
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月21日 青森市立金浜小学校卒業式

2. 教育委員会事務の点検・評価

(1) 経緯

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)が改正され、平成20年4月から施行された。

改正地教行法では「教育委員会の責任体制の明確化」が規定されており、教育委員会が、毎年学識経験者の知見を活用しながら、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられたことに伴い実施するものである。

(2) 対象事業

青森市では、教育関連も含めて、青森市のまちづくりの最上位の指針として青森市総合計画を策定している。現在は「ネクスト AOMORI 推進プラン」 前期基本計画(平成18年度~平成22年度)(以下「前期基本計画」という。)がこれに該当する総合計画となっている。

平成22年度の点検・評価に当たっては、前期基本計画の第5章「未来をひらく 豊かな人を育むまち」のうち、教育委員会が所管する19の施策と、これらの施策を推進するため平成21年度で実施した162の事務事業を対象とした。

(3) 学識経験者の知見の活用

地教行法第27条第2項の規定による学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会事務局が行った点検・評価(以下「内部点検・評価」という。)の結果について、選任した学識経験者2名から個別に意見を聞き、これを参考に教育委員会において点検・評価を実施し、その結果を報告書にまとめた。

(4) 学識経験者

三 上 純 一

青森大学経営学部経営学科教授

・平成19年青森商業高等学校長、平成17年青森県教育庁県立学校課参事などを歴任

横 山 勉

青森県小学校長会事務局長

・平成18年青森県小学校長会会長、平成17年青森市立筒井南小学校校長などを歴任

(5) 点検・評価方法

内部点検・評価

点検・評価は、担当課が次の評価区分に基づき、対象事業ごとに平成21年度分として掲げた目標に対する達成状況を次の4段階で評価した。

(評価区分)

A：達成指標の成果が上がり、その成果が前期基本計画の平成22年度の到達目標を達成した事業

B：達成指標の成果が上がり、その成果が平成21年度目標を達成した事業

C：現状値(平成17年度)より達成指標の成果が上がったものの、その成果が平成21年度目標に及ばなかった事業

D：達成指標の成果が上がらず、実績値が総合計画策定時(平成17年度)の現状値より後退し

た事業

教育委員会による点検・評価

各施策において、施策に係る事業毎の内部点検評価結果に基づき、次の3段階で評価した。

(評価区分)

...Aの構成割合が100%の場合

...A及びBを合わせた構成割合が60%以上の場合

...A及びBを合わせた構成割合が60%未満の場合

(6)平成21年度の教育施策の体系

青森市では、まちづくりの最上位の指針として青森市総合計画「ネクスト AOMORI 推進プラン」前期基本計画(平成18年度～平成22年度)を策定している。

本市では、この中の第5章「未来をひらく 豊かな人を育むまち」を、本市の教育振興に係る基本的な計画と位置付け、その計画に沿って各施策・事業を実施している。

将 来 都 市 像	基 本 政 策	政 策	施 策	対 象 事 業 数
恵み豊かな森と海 男・女(ひと)が輝く 中核都市	第5章 未来をひらく 豊かな人を育むまち	第1節 生きる力を育む教育環境	1 確かな学力を育む教育の推進	20
			2 豊かな心を育む教育の推進	6
			3 特色ある教育の充実	4
			4 教育環境の充実	35
			5 就学支援の充実	9
			6 学校・家庭・地域の協働による教育力の向上	17
		第2節 生活と地域を豊かにする 生涯学習	1 生涯学習活動の充実	6
			2 生涯学習支援システムの充実	1
			3 生涯学習施設機能の充実	7
		第3節 豊かな感性を磨く文化・ 芸術	1 文化・芸術活動の充実	6
			2 版画文化の充実	1
			3 伝承・伝統文化の保存・継承	4
			4 文化財の保存・活用	19
			5 文化・芸術施設機能の充実	2
		第4節 だれもが親しめるスポー ツ・レクリエーション	1 スポーツ・レクリエーション活動の充実	8
			2 競技力の向上	8
			3 スポーツ・レクリエーション施設機能の充実	5
		第5節 人の輪を広げる地域間交 流	1 国際交流の充実	3
			2 国内交流の充実	1

3. 点検・評価結果

政策第1節：生きる力を育む教育環境

施策1	確かな学力を育む教育の推進	
施策の成果	児童生徒に必要とされる知識・技能が確実に定着するとともに、学ぶ意欲や向上心、思考力、判断力、表現力など、自ら課題を解決する能力が育まれます。	
関連事業（20事業）の内部点検評価結果 A：16件（80%） B：2件（10%） C：0件（0%） D：2件（10%）		評価
<ul style="list-style-type: none"> 概ね施策全体で成果を上げている。 目標指標の設定にあたっては、社会状況が変化する中で、指標は絶対値で規定されるのではなく、浸透、定義、促進の程度で評価する必要がある。また、事業名が事業の目的に沿った指標となるように努めてほしい。 教員の資質向上や相談業務の利用促進を図るため、教育研修センターにおける研修の充実や市民への周知強化に努める必要がある。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の学力向上に向けて精力的に取り組む、十分な成果を得ている。今後も継続して積極的に取り組んで欲しい。 特別支援教育については、学級数や在籍数の増加、支援員の配置等積極的に推進されているが、教員の専門性向上がより求められる分野だけに、特別支援学校及び関係機関との連携も含めた研修の充実が一層望まれる。 学校訪問について、指導主事の指導回数の増加は好ましいが、学校現場への適切な指導助言の観点からも、各指導主事が常に最新の情報を直接的に入手できる県外研修等に参加する体制の充実を図ることが肝要であるとする。 教育研修センターの利用も順調に伸び、評価される。しかし、研修の充実及び利用の促進を考えた時、中核市として研修を行っているが、県学校教育センターとの連携も視野に入れて取り組んで欲しい。 		

（資料）施策1 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
就学指導委員会事務	障害のある児童生徒が障害の種類や程度に応じた就学の機会が得られるようにします。 【目標指標】 特別支援学級在籍者数【人】	幼児児童生徒 216 人に対し調査・検査等を実施しました。 ・平成 21 年度の特別支援学級数 74 学級（小学校が 48 学級（うち 6 学級が新設）、中学校が 26 学級（うち 3 学級が新設））	A	学務課
学籍関係事務	学籍に関する業務を適正に実施します。 【目標指標】 学齢児童生徒数【人】	学籍に関する業務を全学齢児童生徒に対し適正に実施しました。 ・平成 21 年度の学級数 923 学級（小学校が 635 学級、中学校が 288 学級）	A	学務課

学校訪問教育指導事業	<p>学校運営上の諸課題や教員の学習指導上の悩みや不安を軽減・解消し、教職員のより一層の資質の向上を図ります。</p> <p>【目標指標】 指導主事一人あたりの授業研究会回数【回】</p>	<p>指導主事の授業研究会（5月～11月で延べ681回）における指導助言によって、学校運営の諸課題や教員一人一人の学習指導上の悩みや不安を軽減・解消し、教職員のより一層の資質の向上を図りました。</p>	A	指導課
教育研修センター運営管理事務	<p>個に応じた指導の充実や教員の資質向上のための研修の充実を図ります。また、障害のある児童生徒の教育的ニーズに対応した支援を行います。</p> <p>【目標指標】 利用件数【件】</p>	<p>教育関係団体等の研修、教職員に対する自主講座の開催、幼児児童生徒の教育相談及び少年指導を行いました。</p>	A	指導課
教育研究所連盟事業（負担金）	<p>学校の抱える新たな教育課題に対応するために、研究調査の進展を図り、教育の改善に寄与するために、全国及び東北地区の教育研究機関が相互提携をします。</p> <p>【目標指標】 研修会出席数【人】</p>	<p>負担金を払うことで、教育研究所連盟が開催する研究協議会等に参加でき、会報等から情報を得て、本市の学校教育に反映しました。</p> <p>【負担金支払先・負担金額】 全国教育研究所連盟 （20,000円） 東北地区教育研究所連盟 （1,000円）</p>	A	指導課
教職員研修事業	<p>個に応じた指導の充実や教員の資質向上のための研修の充実を図ります。また、障害のある児童生徒の教育的ニーズに対応した支援を行います。</p> <p>【目標指標】 受講者数【人】</p>	<p>基本研修 31 講座（初任者研修、10年経験者研修等） 職務別研修 14 講座（校長研修、教頭研修等） 専門研修 32 講座（教科・領域研修等） 特別研修 10 講座（確かな学力対策講座等） 合計 87 講座を実施しました。</p>	B	指導課
教科書採択事業（負担金）	<p>義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に拠り、義務教育諸学校で使用する教科用図書（教科書）を小学校・中学校別に4年に1回、採択地区ごとに採択をします。</p> <p>【目標指標】 小・中学校別の採択教科用図書種目数【種目】</p>	<p>児童生徒が使用するにふさわしい教科書を採択するために負担金を負担しました。</p> <p>【負担金支払先・負担金額】 東青地区教科用図書採択協議会 （33,770円）</p>	A	指導課

教科用図書無償給与事務	副読本購入に係る保護者負担を軽減します。 【目標指標】 社会科及び道徳副読本の給付冊数【冊】	平成21年度の無償給与実績 社会科副読本は小学校5,896人 道徳副読本は小学校18,119人、中学校9,337人	D	学務課
小・中学校連携教育課程研究開発事業	9年間にわたり一貫性のある指導内容・方法の工夫・改善や教材開発等を行い、その成果を公開発表を通して全小・中学校に普及させることで、「確かな学力」と「豊かな人間性」のさらなる育成を図ります。 【目標指標】 研究指定校の成果等を共有する学校数【校】	10月～11月にかけて、12校の研究指定校が、授業公開発表を実施しました。また、9年間一貫性のある教育活動をする上での工夫点等を3月に報告会で発表することを通して、全小・中学校に普及させました。	A	指導課
学校教育指導方針推進事業	「青森市教育施策の方針」を踏まえ、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を図ります。 【目標指標】 学校訪問で学校教育指導の方針と重点を説明する学校数【校】	5月～11月にかけて、全小・中学校71校において、学校教育指導の方針と重点を説明し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもを育成するとともに、各学校が特色ある教育課程を編成しました。	A	指導課
特別支援教育支援員配置事業	通常学級に在籍しているLD・ADHD、肢体不自由等の児童生徒に適切な支援を行います。 【目標指標】 特別支援教育支援員配置校数【校】	・配置校 23校 ・勤務形態 1日5時間程度、1週5日程度、年間35週 ・勤務内容 授業等における学習活動の支援等	A	学務課
特別支援教育充実対策事業 (負担金)	小・中学校教育との一貫性のある高等学校教育ができるよう、特別支援学校、関係機関との連携を密にするとともに、個に応じた適切な指導計画や指導方法等の在り方について連携を図ります。 【目標指標】 校内の通常の学級や特別支援学校等と連携している学校数【校】	子ども一人一人の障害の種類や程度等に応じた適切な教育、支援について、様々な場面での情報交換や交流活動を行うために負担金を負担しました。 【負担金支払先・負担金額】 青森県言語障害児教育研究会 (111,600円) 青森県特別支援教育研究会知的障害教育部会 (70,000円)	A	指導課

私立幼稚園研究支援事業（補助金）	私立幼稚園教職員の資質向上と幼児教育の充実を図ります。 【目標指標】 研修会開催数【回】	幼児教育研究事業の経費の一部を助成しました。 【補助金交付先・交付額】 青森私立幼稚園協会 (200,000円)	D	学務課
市町村指導主事研修事業	学校教育指導について共通理解を図るとともに、直面する諸問題について研究協議を行い、学校教育指導行政の効率化を図ります。 【目標指標】 青森市の指導主事等の参加延べ人数【人】	他市の教育問題への取組み状況等について、情報交換し、研究協議を行い、教員の資質向上や児童生徒の健全育成を図りました。 ・第1回市町村指導主事研修協議会(青森市以外の市部で持回り開催) 【開催日】8月20日(木) 【開催場所】五所川原市 【参加者数】6人 ・第2回市町村指導主事研修協議会(青森市) 【開催日】平成22年1月22日(金) 【開催場所】青森市 【参加者数】16人	A	指導課
学校評議員関連事務	学校評議員の意見を通じて、地域の意見を把握し、学校・家庭・地域との連携を図り、開かれた学校づくりを推進します。 【目標指標】 学校評議員活用回数【回】	学校が地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携協力し、一体となって子どもの成長を図っていくために、校長が地域の意見を集約することが可能となり、学校運営に活かすことができました。 ・小学校 541回 ・中学校 343回	A	指導課
実践指導事例集作成事業	実践指導事例集を作成・配付することにより、教師が抱える学習指導上の悩み等を軽減し、本市の学校教育指導の方針と重点の実現を図る授業を展開します。 【目標指標】 指導事例集の内容の紹介・普及校数【校】	全小・中学校に実践指導事例集を作成・配付し、学校訪問の授業研究会(延べ681回)で説明することにより、教師が抱える学習指導上の悩み等を軽減するとともに、本市の学校教育指導の方針と重点の実現を図りました。	A	指導課
全国教育研究所連盟研究協議会参加事業	全国教育研究所連盟が開催する研究協議会に出席し、その成果等を本市の学校教育に反映させます。 【目標指標】 研修講座等の数【講座】	協議会で得た成果等を教育活動のための指導課教育活動推進会議(年19回)や研修講座(87講座)に反映し、本市の教職員の資質の向上を図りました。	A	指導課

教育展望セミナー参加事業	<p>教育展望セミナーに参加し、そこで得られた成果を本市の教育施策等に反映させます。</p> <p>【目標指標】 研修講座等の数【講座】</p>	<p>主任指導主事等が本セミナーに参加し、最新の教育情報・理論等を研修し、その成果を指導課教育活動推進会議（年 19 回）や全小・中学校 71 校の学校訪問を通して、教職員に伝えることにより、本市の教職員の資質の向上を図りました。</p>	A	指導課
小学校外国語活動実践研究事業	<p>改訂された小学校学習指導要領の趣旨に沿った外国語活動を展開するために、その研究を推進する小学校を指定し、その成果を市内の小学校へ普及させます。</p> <p>【目標指標】 実践研究成果普及校数【校】</p>	<p>教材や外国語指導助手などの効果的な活用の実践的研究を行い、その研究成果を学校訪問を通して、市内小学校 50 校に紹介し、普及させ、小学校 5・6 年生の外国語活動を円滑に実施しました。</p>	A	指導課
後援等承認事務	<p>後援承認等により、児童生徒の健全育成や教職員の資質向上に関する情報を得て、本市における個に応じた指導の充実や教員の資質向上のための研修への充実に反映させます。</p> <p>【目標指標】 後援名義等の承認件数【件】</p>	<p>23 の各種団体が主催する催し物等を支援し、教員の資質向上や児童生徒の健全育成を図りました。</p>	B	指導課

施策2	豊かな心を育む教育の推進
施策の成果	生命を大切にし、感動する心や他人を思いやる心を持ち、自ら律することができる子どもが育成されます。
関連事業（6事業）の内部点検評価結果	評価
A：6件（100%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：0件（0%）	
<ul style="list-style-type: none"> ・施策全体で大きな成果を上げている。 ・「心豊かな子ども読書活動推進事業」の目標値は、児童生徒数の減少と連動する「作品数」ではなく、例えば児童生徒数に対する「応募作品率」にする等、事業効果をより適正に判断できる指標となるよう配慮する必要がある。 ・生命を大切にし、感動する心や他人を思いやる心を持ち、自ら律することができる子どもの育成のため、教育相談体制の充実や学校・医療関係・PTA等の連携強化が必要である。 ・社会情勢が厳しさを増していく中において、児童生徒の保護的な面だけでなく、自助努力を習慣化させる取組みも必要である。 	
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正に管理及び円滑に執行され、大きな成果を得ている。しかし、教育相談適応指導事業については、教育相談員6名、臨床心理士2名で対応してきているが、できれば増員してゆとりを持った事業展開ができることを期待する。 ・心身に悩みを抱え、集団生活に適応できない子の実態は様々であり、個別のきめ細やかな指導が求められる。それぞれの目標指数はクリアできているが、今後とも学校や関係機関及び家庭との連携を密にしながら、各事業の更なる充実を図ってほしい。又、スクールカウンセラーによる一般教員の実践的指導力向上を図る研修の機会を充実させて欲しい。 ・読書活動の推進を、感想文コンクールの応募作品数で評価するのは、少し疑問が残る。子ども達を取り巻く読書環境の充実という観点から、学校図書館の蔵書の充実や各校と市民図書館の更なる連携及びネットワークの構築などにも、一層力をいれてほしい。 ・児童生徒を中心に、学校及び医療関係者・PTA等が参加し、委託校を核として実践的な活動を大切にしながら、健康・安全・環境等に関する意識を高めようとする姿勢は、十分に評価される。 	

（資料）施策2 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
教育相談適応指導事業	<p>不登校等の問題を抱える保護者、教職員、幼児児童生徒を対象に教育相談を行うとともに、学校復帰を目的とする集団生活への適応指導や学習指導、生活体験事業等を行い、学校復帰、社会参加、自立を促します。</p> <p>【目標指標】 学校に復帰した児童生徒数【人】</p>	<p>教育相談員（6名）や臨床心理士（2名）が、不登校などの問題を抱える児童生徒等に対し、延べ3,428件にのぼる教育相談や適応指導を通して学校復帰、社会参加、自立を促し、豊かな心の育成を図りました。</p>	A	指導課

スクールカウンセラー配置事業	<p>スクールカウンセラーを派遣したり、活用会議でスクールカウンセラー配置校間での活用の成果を情報交換しながら、保護者、児童生徒、教職員の悩みを軽減し、また、教職員の教育相談の技能を向上させます。</p> <p>【目標指標】 学校での講話・実技研修実施回数【回】</p>	<p>スクールカウンセラー（11名）による教育相談を通して児童生徒・保護者の不安を軽減したり、実技研修を通して教員の教育相談に関する技能を向上させたりするなど、児童生徒の人間性、社会性の育成を図りました。</p> <p>【講話・実技研修実施回数】 ・小学校 11回 ・中学校 25回 計36回</p>	A	指導課
問題を抱える子ども等の自立支援事業	<p>児童生徒や保護者、教職員等の悩みやストレスを和らげることができる教育相談員を小学校に派遣し、相談活動及び適応指導教室等とのネットワークを活用して、児童生徒が学校生活に適應できるよう援助します。</p> <p>【目標指標】 派遣回数【回】</p>	<p>教育相談員（4名 小学校8校に派遣）による相談活動や関係団体との連携を充実させ、不登校児童生徒が学校生活に適應できるよう環境を整備しました。</p>	A	指導課
心豊かな子ども読書活動推進事業	<p>児童生徒に対し読書の働きかけをしたり読書の機会を設定したりすることにより、児童生徒が学校生活の中で読書を楽しみ、親しむ場を増やします。</p> <p>【目標指標】 応募作品数【点】</p>	<p>学校図書館等の良書に触れ、読書感想文等に取り組む機会をつくったり、児童生徒が読書に親しむ機会を広げ（作品応募校数全小・中学校71校）、作品集（200冊）や読書活動推進だより（1,000部×2回）を作成配付したりするなど、学校の枠を超えた読書活動の推進を図りました。</p>	A	指導課
学校保健安全推進事業	<p>生涯にわたって心身共に健康な生活ができるよう、健康・安全・環境等に関する意識を醸成します。</p> <p>【目標指標】 学校保健安全推進業務委託校数【校】</p>	<p>学校保健安全推進業務委託校（橋本小・金沢小）が学校保健安全活動内容を、学校関係者、医療関係者、PTA等が参加する青森市学校保健研究大会で発表し、大会内容を研究集録として刊行しました。</p>	A	学務課
学校保健会運営事業	<p>青森市における学校保健活動及び学校安全の充実のため、青森市学校保健会に負担金を支出します。</p> <p>【目標指標】 青森市児童生徒保健安全自由研究発表会開催数【回】</p>	<p>青森市学校保健研究大会を開催しました。</p> <p>【開催日】11月6日（金） 【開催場所】橋本小学校 【参加者数】50名程度</p>	A	学務課

施策3	特色ある教育の充実		
施策の成果	子どもたち一人ひとりが個性を活かし、その能力が十分に伸ばされます。		
関連事業（4事業）の内部点検評価結果	A：2件（50%） B：2件（50%） C：0件（0%） D：0件（0%）		評価
<ul style="list-style-type: none"> 概ね施策全体で成果を上げている。 国際理解や外国語学習の推進において、外国語指導助手（ALT）や国際交流員（CIR）の果たす役割が大きい。増員を検討するとともに、より英語力を向上させるため学習方法に工夫を加えることも必要である。 パソコン整備がかなり改善され、情報教育の進展が期待されるが、今後は、授業での幅広い活用を図るとともに、情報社会のモラルの指導についても一層強化指導していくことが大切である。 個を生かし国際社会の中で生きる力を育むため、郷土文化を積極的に教育現場にとり入れるなど、地域の特色を活かした取組みが必要である。 			
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流及び情報処理機器に関する事業については適正に実施されている。しかし、情報処理機器に関する事業は、急速に技術が進んでいることから、社会の変化に応えることができる事業内容に留意する必要がある。 外国青年や国際交流員が各学校を訪れ、国際理解や外国語の学習に果たす役割は大きい。今後とも可能であればスタッフの増員と、日本人教師への研修の充実を継続的に進めて欲しい。 1校あたりの配備コンピュータの台数も着実に増え、情報教育が推進しやすい環境が整ってきたことは大いに評価できる。と同時に、情報社会の負の部分も含めたモラルの指導にも、計画的に取り組むよう支援してほしい。更に今後とも、校内LANや各機関等とのネットワーク整備にも一層尽力いただきたい。 			

（資料）施策3 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
国際交流員設置事業	<p>各学校に国際交流員を派遣し、児童が直接交流することで、外国の生活や文化などを体験したり、多様な考え方や価値観があることを実感する機会を持たせます。</p> <p>【目標指標】 学校訪問回数【回】</p>	国際交流員（1名）が、延べ157回の各小学校（42校）への訪問を通して、児童の異文化理解の促進や外国語に慣れ親しむよう支援しました。	B	指導課
外国青年（語学指導員）招致事業	<p>外国青年と日本人教員の協同授業等における英会話等の指導を通して、小・中学生が、英語による実践的なコミュニケーション能力が高まるとともに、日本人教員の英語力や指導力の向上を図ります。</p> <p>【目標指標】 学校訪問回数【回】</p>	外国青年（6名）が、全小・中学校において日本人教員との協同授業を延べ866回行い、児童生徒と直接交流することで、一人ひとりの異文化理解を促進し、コミュニケーション能力の向上を図りました。	B	指導課

<p>情報処理機器運営管理事業</p>	<p>小・中学校で、コンピュータを1人1台にし、ネットワーク環境で回線速度及びソフト環境の整備を図り、個に応じた児童生徒の主体的な学習に支援できる状態にします。</p> <p>【目標指標】 1校あたりの平均配備コンピュータの台数【台】</p>	<p>市内中学校は1人に1台を実現し、市内小学校は2人に1台の状況から改善されつつあります。</p>	<p>A</p>	<p>指導課</p>
<p>情報処理機器借上事業</p>	<p>小・中学校で、コンピュータを1人1台にし、ネットワーク環境で回線速度及びソフト環境の整備を図り、個に応じた児童生徒の主体的な学習に支援できる状態にします。</p> <p>【目標指標】 1校あたりの平均配備コンピュータの台数【台】</p>	<p>市内中学校は1人に1台を実現し、市内小学校は2人に1台の状況から改善されつつあります。</p>	<p>A</p>	<p>指導課</p>

施策4	教育環境の充実		
施策の成果	児童生徒がより良い環境の中で、楽しく、充実した教育を受けることができます。		
関連事業（33事業）の内部点検評価結果（事業未実施2件）	A：18件（54.5%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：15件（45.5%）		評価
<ul style="list-style-type: none"> ・財源に関わる事業が多いため厳しい評価となった。 ・少人数の学校の統廃合については、様々な課題もあるが、社会性や集団で学ぶなどの教育的効果を考えれば積極的に進めることが重要である。 ・事業の目標指標の設定については、事業目的の達成状況を的確に判断できるものとする必要がある。 ・給食運営事業については、限られた予算の中で安全、衛生面に配慮し、地産地消や行事食をメニューに取り入れながら、栄養バランスのとれた給食の提供に努めていると評価できる。今後は食べ残しを減らすため、メニューの一層の工夫はもとより、保護者や子ども達へ、給食の重要性や食べ残しの問題点などを意識付ける取組みを検討する必要がある。 			
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財源のからむ事業が多いので、内部評価としては望ましい評価結果ではなかったが、各課が充実に向けて積極的に取り組んでいる様子がうかがえる。 ・校舎耐震診断・改築等の計画的な施工はもとより、施設の保守点検に基づいた日常的な小回り修繕は、各校の実態及び要望や緊急性等を十分に把握し、積極的に実施して欲しい。 ・除排雪に対しては、各校の校地内除排雪面積や通学路の実態等を確実に把握し、予算配分の基本線は尊重しながらも、各校の要望に可能な限り応え、冬期間の安全を確保して欲しい。 			

（資料）施策4 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
小学校運営管理事務	小学校の運営管理に必要不可欠な経費であり、学習環境の向上を図ります。 【目標指標】 学校数【校】	各学校の規模に応じた予算を配当し、校長の管理下で適正に予算を執行しました。	A	総務課
小学校教材整備事業	小学校の教材整備を推進する上で必要不可欠な経費であり、学習環境の向上を図ります。 【目標指標】 学校数【校】	各学校の規模に応じた予算を配当し、校長の管理下で適正に予算を執行しました。	A	総務課
中学校運営管理事務	中学校の運営管理に必要不可欠な経費であり、学習環境の向上を図ります。 【目標指標】 学校数【校】	各学校の規模に応じた予算を配当し、校長の管理下で適正に予算を執行しました。	A	総務課

中学校教材整備事業	中学校の教材整備を推進する上で必要不可欠な経費であり、学習環境の向上を図ります。 【目標指標】 学校数【校】	各学校の規模に応じた予算を配当し、校長の管理下で適正に予算を執行しました。	A	総務課
小学校改築等移転事務	小学校の改築及び統廃合に伴う教育環境の整備を図ります。 【目標指標】 改築移転を実施した学校数【校】	孫内小学校、戸門小学校及び鶴ヶ坂小学校の図書及び備品の移動・廃棄を行いました。	A	総務課
中学校改築等移転事務	中学校の改築及び統廃合に伴う教育環境の整備を図ります。 【目標指標】 改築移転を実施した学校数【校】	新城中学校において、旧運動場の備品の移動・廃棄、また、新運動場の備品等の整備を行いました。	A	総務課
児童生徒保健衛生管理事業	児童生徒、教職員の健康状態を把握し、疾病の悪化を防ぐとともに円滑な学校教育の実施を図ります。 【目標指標】 適正な時期の適正な健診の実施【%】	児童生徒定期健康診断を学校保健安全法に基づき6月30日までに実施しました。 【受診者数】 小学校 16,416人 中学校 8,617人 計 25,033人 【精密検査人数】 ・結核検診精密検査人数 7人 ・心臓検診精密検査人数 110人 ・腎臓検診精密検査人数 97人	A	学務課
学校環境衛生管理事業	学校環境衛生を良好にし、健康で快適な学習環境を提供します。 【目標指標】 学校教育に支障をきたした件数【件】	害虫等の駆除、プールの水質検査、室内空気中化学物質検査、ダニ・アレルゲン検査を実施しました。	A	学務課
学校災害共済給付及び災害賠償補償関係事務	日本スポーツ振興センター災害共済加入者が学校管理下において発生した怪我等について、必要な手続きを行います。 第三者に対する国家賠償法又は民法に基づく市の損害賠償責任が発生した場合に必要な措置を講じます。 【目標指標】 適正処理率【%】	災害共済給付件数 ・小学校 1,068件 ・中学校 1,552件 計 2,620件	A	学務課

小回り修繕事業	小・中学校施設の維持修繕を行い、教育環境の整備を図ります。 【目標指標】 実施学校数【校】	小回り修繕班が小学校 50 校、中学校 21 校を訪問し、小規模修繕を行いました。	D	学務課
新城小学校校舎等改築事業	新城小学校は、昭和 40 年度に建設され、老朽化が著しいことから、平成 14 年度に耐力度調査を行ったところ、校舎及び屋内運動場の耐力度が低いことから、改築事業を順次実施します。 【目標指標】 実施学校数【校】	屋外体育施設の整備に着手しました。 平成 22 年 4 月 28 日に完成し、5 月 11 日より供用開始しました。	A	学務課
新城中学校校舎等改築事業	新城中学校は昭和 43 年に建設され、老朽化が著しく、また、同規模の中学校に比較して、特別教室が不足しているなど、狭隘な教育環境となっています。従ってより良い教育環境の整備・充実を図るため、改築事業を順次実施します。 【目標指標】 実施学校数【校】	屋内運動場を改築しました。	A	学務課
小学校耐震診断・改築事業	建築基準法の改正により、学校施設の耐震性改善が求められていることから、年次計画により整備します。 【目標指標】 実施学校数【校】	平成 21 年度については、21 校の耐震診断、9 校の改修設計を実施し、2 校の改修設計、1 校の改修工事に着手しました。 平成 20 年度の繰越事業(9 校の耐震診断、1 校の改修設計)を含む。	D	学務課
学校施設調査等事務	小・中学校の図面等の書類整備及び建物の現況調査を行うことにより適切な教育環境整備を図ります。 【目標指標】 実施学校数【校】	小学校 50 校、中学校 21 校を訪問し、学校施設の現況調査を実施するとともに、施設台帳等の整備を実施しました。	D	学務課
中学校耐震診断・改修事業	建築基準法の改正により、学校施設の耐震性改善が求められていることから、年次計画により整備します。 【目標指標】 実施学校数【校】	平成 21 年度については、6 校の耐震診断、4 校の改修設計、1 校の改修工事を実施し、2 校の耐震診断、4 校の改修設計に着手しました。 平成 20 年度の繰越事業(6 校の耐震診断、1 校の改修設計)を含む。	A	学務課

学校医等嘱託事業	学校における保健・安全に資するため、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置します。 【目標指標】 定期健康診断実施学校数【校】	配置状況 ・学校医 234人 (小学校161人・中学校73人) ・学校歯科医 73人 (小学校50人・中学校23人) ・学校薬剤師 71人 (小学校50人・中学校21人)	D	学務課
スクールバス運営事業	遠距離通学をしている児童生徒が通学に使用できる路線バスがない場合など、必要に応じてスクールバス等を運行し、児童生徒の通学手段を確保し、交通費の保護者負担の軽減を図ります。 【目標指標】 バス等を利用する児童生徒が通学途中に事件事故にあった人数【人】	遠距離通学をしている児童生徒が通学に使用できる路線バスがない場合など、必要に応じてスクールバス等を運行しました。 【スクールバスを運行した学校】 新城中学校 新城中央小学校 浅虫中学校 東陽小学校 浪岡中学校 浪岡北小学校 浪岡南小学校 女鹿沢小学校 浪岡野沢小学校	D	学務課 教育課
小学校清掃・除雪等委託事業	小学校校地内除雪等を行い、教育環境の整備を図ります。 【目標指標】 実施学校数【校】	小学校 50校の校地内除雪作業及び屋根雪下ろし等作業を実施しました。	D	学務課
中学校清掃・除雪等委託事業	中学校校地内除雪等を行い、教育環境の整備を図ります。 【目標指標】 実施学校数【校】	中学校 20校の校地内除雪作業及び屋根雪下ろし等作業を実施しました。	D	学務課
学校プール管理事業	学校プール施設の維持管理等を行い、水泳授業の環境整備を図ります。 【目標指標】 実施学校数【校】	小学校 22校、中学校 2校の学校プールの維持管理及び戸山西小学校屋内プールの施設開放を実施しました。	D	学務課
小学校維持管理事業	小学校施設の保守点検等を行い、教育環境の整備を図ります。 【目標指標】 実施学校数【校】	小学校 50校について、施設の保守点検、機械警備等の維持管理を実施しました。	D	学務課
中学校維持管理事業	中学校施設の保守点検等を行い、教育環境の整備を図ります。 【目標指標】 実施学校数【校】	中学校 21校について、施設の保守点検、機械警備等の維持管理を実施しました。	A	学務課
小学校維持修繕事業	小学校施設の維持修繕を行い教育環境の整備を図ります。 【目標指標】 施設維持修繕件数【件】	小学校施設の維持修繕338件を実施しました。	A	学務課

中学校維持修繕事業	中学校施設の維持修繕を行い、教育環境の整備を図ります。 【目標指標】 施設維持修繕件数【件】	中学校施設の維持修繕141件を実施しました。	A	学務課
小学校施設整備事業	小学校施設の整備を行い教育環境の整備を図ります。 【目標指標】 施設工事件数【件】	平成21年度については、施設整備を必要とする事案がありませんでした。	-	学務課
中学校施設整備事業	中学校施設の整備を行い、教育環境の整備を図ります。 【目標指標】 施設工事件数【件】	平成21年度については、施設整備を必要とする事案がありませんでした。	-	学務課
給食運営事業 (小学校)	安全・衛生面に配慮し、郷土食や行事食をメニューにとりいれながら、栄養のバランスのとれた食事を継続的に提供します。 【目標指標】 対象実施人数【人】	施設・設備の衛生管理を徹底し、安全でおいしい給食を全児童生徒及び教職員に年間を通して提供しました。 給食対象児童数 16,583人 教職員等数 1,207人	D	学校給食課
給食運営事業 (中学校)	安全・衛生面に配慮し、郷土食や行事食をメニューにとりいれながら、栄養のバランスのとれた食事を継続的に提供します。 【目標指標】 対象実施人数【人】	施設・設備の衛生管理を徹底し、安全でおいしい給食を全児童生徒及び教職員に年間を通して提供しました。 給食対象生徒数 8,793人 教職員等数 673人	D	学校給食課
給食施設維持管理事業 (小学校)	学校給食に係る施設・設備の適切な維持管理や衛生管理、学校給食関係職員・調理員等への研修、学校給食に関する業務の総合的な管理等を通して、児童の健康と健全な発達を目指します。 【目標指標】 対象実施人数【人】	学校給食施設・設備の維持管理や衛生管理、学校給食に関する総合的な事務・事業を行いました。 管理施設 ・西部学校給食共同調理場 ・中央部学校給食共同調理場 ・浪岡学校給食センター ・単独校調理場 13校	D	学校給食課
給食施設維持管理事業 (中学校)	学校給食に係る施設・設備の適切な維持管理や衛生管理、学校給食関係職員・調理員等への研修、学校給食に関する業務の総合的な管理等を通して、生徒の健康と健全な発達を目指します。 【目標指標】 対象実施人数【人】	学校給食施設・設備の維持管理や衛生管理、学校給食に関する総合的な事務・事業を行いました。 管理施設 ・中学校給食センター	D	学校給食課

<p>小学校給食改善・充実対策事業 (負担金)</p>	<p>安全・衛生面に配慮し、郷土食や行事食をメニューにとりいれながら、栄養のバランスのとれた食事を継続的に提供します。</p> <p>【目標指標】 学校給食の改善充実度【%】</p>	<p>学校給食センターの相互の連絡連携と学校給食管理運営について調査研究し、学校給食の改善・充実を図るために、青森県学校栄養士協議会負担金及び青森県学校給食センター連絡協議会負担金を負担しました。</p> <p>青森県学校栄養士協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部学校給食共同調理場 4,500 円 ・中央部学校給食共同調理場 4,500 円 ・浪岡学校給食センター 4,500 円 ・単独校7校分 31,500 円 <p>青森県学校給食センター連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部学校給食共同調理場 8,000 円 ・中央部学校給食共同調理場 8,000 円 ・浪岡学校給食センター 8,000 円 	<p>A</p>	<p>学校給食課</p>
<p>中学校給食改善・充実対策事業 (負担金)</p>	<p>安全・衛生面に配慮し、郷土食や行事食をメニューにとりいれながら、栄養のバランスのとれた食事を継続的に提供します。</p> <p>【目標指標】 学校給食の改善充実度【%】</p>	<p>学校給食センターの相互の連絡連携と学校給食管理運営について調査研究し、学校給食の改善・充実を図るために、青森県学校栄養士協議会負担金及び青森県学校給食センター連絡協議会負担金を負担しました。</p> <p>青森県学校栄養士協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校給食センター 4,500 円 <p>青森県学校給食センター連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校給食センター 8,000 円 	<p>A</p>	<p>学校給食課</p>

通学区域再編事務	<p>適正な学校規模の確保と児童生徒のよりよい教育環境の整備を図ります。</p> <p>【目標指標】 適正な学校規模以外の小中学校数 【校】</p>	<p>複式学級を有する小学校や全年単学級となっている中学校を通学区域再編の最優先校とし、地域の方々との話し合いを継続して行ったほか、統合予定校の事前交流を行いました。</p> <p>【これまでの取組み実績】 平成21年4月1日 孫内・鶴ヶ坂・戸門小学校を新城中央小学校へ統合 平成22年4月1日 金浜小学校を荒川小学校へ統合 平成23年4月1日 高田中学校を荒川中学校へ統合予定</p>	A	学務課
(仮称)小学校給食共同調理場整備事業	<p>学校給食に係る施設・設備の適切な維持管理や衛生管理、学校給食関係職員・調理員等への研修、学校給食に関する業務の総合的な管理等を通して、児童の健康と健全な発達を目指します。</p> <p>【目標指標】 対象実施人数【人】</p>	<p>小学校給食施設である西部及び中央部学校給食共同調理場は、いずれも建設後30年以上が経過しており、老朽化が激しく新しい給食施設の整備が急務となっていることから、(仮称)小学校給食共同調理場の整備に向け、より効率的な整備・管理運営を図るため、PFI等導入可能性調査を実施しました。</p>	D	学校給食課
私立幼稚園運営支援事業(補助金)	<p>幼稚園の円滑な運営に資することにより、園児の健全な育成、父母の負担軽減を図ります。</p> <p>【目標指標】 補助金受給幼稚園数【園】</p>	<p>私立幼稚園(32園)に対して運営費の一部を助成しました。</p> <p>【補助金額】 幼稚園割 1幼稚園当たり200,000円 園児割 園児1人当たり3,000円</p>	D	学務課

施策5	就学支援の充実	
施策の成果	すべての児童生徒が平等に教育機会を得られます。	
関連事業（9事業）の内部点検評価結果	A：7件（77.8%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：2件（22.2%）	評価
<ul style="list-style-type: none"> 概ね施策全体で成果を上げている。 国民の等しい権利から就学支援は行政に求められる基本的な政策である。しっかりと取り組むことが必要である。 事業目的の事業達成状況を的確に評価できる目標指標となる必要がある。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学困難な児童がでないように、様々な視点から保護者に対する支援を行い、平等な教育機会を確保している。 就学支援については、諸事業が順調に行われていると考えるが、今後とも各事業の更なる内容の充実と、対象者への事業内容の周知徹底が望まれる。 		

（資料）施策5 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
幼稚園就園奨励支援事業（補助金）	<p>幼児に適切な教育の機会を提供することにより、幼児教育の振興を図ります。</p> <p>【目標指標】 市の補助割合【%】</p>	<p>幼稚園就園奨励費対象者数 2,518人</p>	A	学務課
児童生徒医療扶助事業	<p>学校病に罹患した要保護・準要保護世帯の児童生徒に医療費を援助し、学習に支障をきたさないようにします。</p> <p>【目標指標】 申請数に対する援助割合【%】</p>	<p>医療費援助児童生徒延べ人数 小学校 1,078人 中学校 260人 計 1,338人</p>	A	学務課
就学援助事業	<p>必要な援助を行い、保護者の負担軽減を図り、義務教育を円滑に受けることができる状態にします。</p> <p>【目標指標】 経済的理由による長期欠席者【人】</p>	<p>経済的理由が原因で就学困難となっている児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を援助し、経済的な負担の軽減を図りました。</p> <p>【支給実績（平成21年度）】 小学生 3,574人 中学生 1,870人</p>	A	学務課

特別支援教育奨励費事業	特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的な負担軽減を図ります。 【目標指標】 経済的理由による長期欠席者【人】	特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を援助し、経済的な負担軽減を図りました。 【支給実績（平成 21 年度）】 小学校 83 人 中学校 43 人	A	学務課
給食扶助事業	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して給食費の援助を行うことにより、安全かつ衛生的で、栄養バランスのとれた給食を提供します。 【目標指標】 経済的理由で欠席している児童生徒数【人】	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して給食費の援助を行いました。 対象児童生徒数 ・準要保護児童生徒（生活保護に準ずる世帯の児童生徒） 5,131 人 ・特別支援児童生徒（知的・情緒・難聴障害、病弱等特別支援学級の児童生徒）117 人	A	学校給食課
校外学習支援事業	校外学習に係るバス代の保護者負担を軽減します。 【目標指標】 父母負担軽減額【千円】	・校外学習バス借上校数 43 校 ・校外学習バス借上総台数 70 台 校外学習バス借上は青森地区のみ実施 ・体育デーバス借上台数 64 台	D	学務課
奨学資金貸付事業	本市出身の優秀な生徒・学生のうち、経済的理由により修学が困難な生徒・学生を支援し、将来の青森市にとって有能な人材育成を図ります。 【目標指標】 奨学金貸与人数（当該年度）【人】	本市出身の優秀な生徒・学生のうち、経済的理由により修学が困難な生徒・学生に、奨学資金を貸与しました。	A	学務課 教育課
浪岡地区新入学児童 記念品購入事務	浪岡地区の小学校新入学児童にランドセルを配付し、保護者の入学時の費用負担の軽減を図ります。 【目標指標】 浪岡地区の新入学児童数【人】	平成 21 年度入学児童から青森・浪岡両地区を対象とした、保護者負担軽減を目的とする「新入学児童学用品支給事業」（入学時に揃える学校指定の学用品を支給）が始まったことにより、同じく新入学児童を対象とする同事業は、平成 21 年度で廃止としました。	D	教育課

<p>新入学児童学用品支給事業</p>	<p>新入学児童の保護者負担を軽減します。</p> <p>【目標指標】 学用品の交付率【%】</p>	<p>平成21年度新入学児童支給者数 2,701人</p> <p>平成21年度予算で22年度新入学児童へ支給しました。</p>	<p>A</p>	<p>学務課</p>
---------------------	--	---	----------	------------

施策6	学校・家庭・地域の協働による教育力の向上		
施策の成果	青少年の健全な育成が図られます。		
関連事業（16事業）の内部点検評価結果（事業未実施1件）	A：9件（56.25%） B：2件（12.5%） C：1件（6.25%） D：4件（25%）		評価
<ul style="list-style-type: none"> 概ね施策全体で成果を上げている。 地域による子ども教育の環境づくりは、今後は更に推進拡大されるべきものだが、最近の学校支援地域本部事業等の新事業と、既存事業との整合性や改廃を検討することも必要である。 子ども会育成については、教育委員会として補助金の交付だけではなく、子ども会を指導するリーダーの育成にさらに力を注ぐ必要がある。 			
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業は、概ね円滑に実施され成果を得ている。しかし、依然として家庭の教育力低下が叫ばれているので、それらに対応した事業を今後も継続して欲しい。 青少年の健全育成を図る諸事業の中核となって活動している地域の方々の意向や要望などに十分耳を傾け、一体となって諸課題を克服する知恵を出し合いながら、活動の更なる充実を図ってほしい。 家庭教育学級運営事業の目標指標を、講座内容の満足度（%）に置き、受講者の視点に立って評価・改善を図ろうとする方向性は、適切であると考えます。 			

（資料）施策6 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
成人式開催事業	<p>新成人自らが大人としての自覚、社会の一員、特に、青森市民としての認識を深め、郷土と自分を見つめ直す1つの契機とします。</p> <p>【目標指標】 成人式出席率【%】</p>	<p>【開催日】平成22年1月10日（日）</p> <p>【開催場所】文化会館・中世の館</p> <p>【対象者】平成元年4月2日～平成2年4月1日生まれの者</p> <p>【企画運営】成人式実行委員会</p> <p>【出席者数】2,333人</p>	A	社会教育課 教育課
養魚場運営管理事業	<p>青少年の体験学習と内水面漁業の振興普及を図ります。</p> <p>【目標指標】 来場者数【人】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学、利用者：685人 養魚配布件数：15件 利用料金：167,400円 	D	教育課
養魚場活動事業	<p>渓流魚の加工技術の学習を通して、市民の内水面の知識について理解を深めます。</p> <p>【目標指標】 来場者数【人】</p>	<p>燻製作り体験講座</p> <p>【開催日】9月27日（日）</p> <p>【開催場所】細野山の家</p> <p>【参加者数】27人</p>	A	教育課

学校支援協議会事務	関係機関との通報・連絡体制を整備するとともに、声かけに対する対応訓練を通じて変質者・不審者等の被害を未然に防止します。 【目標指標】 防犯訓練実施校数【校】	市内71の全小・中学校に対して、不審者対応の訓練等を実施し、対処法の理解や、適切な不審者情報発信により、未然に防止しました。	A	指導課
命を大切に作る心を育む県民運動事業	「子どもは地域の子としてみんなで育てる」という観点から、大人も子どももお互いに声をかけあい、他人への思いやりをもち、たくましく健やかに生きていけるようにします。 【目標指標】 声かけ運動参加者数【人】	【声かけリーダー】 人員：55人(平成21年度推薦・認定)市内の小学校に1人程度の割合で配置 任期：2年	B	社会教育課
地域連携推進事業	学校、家庭、地域社会が連携し、地域ぐるみで子どもの学力と人間性を育む上での諸課題について協議し、解決策を見いだします。 【目標指標】 協議題の数【題】	平成22年度から、小・中連携教育課程研究開発事業の中に組み入れ、中学校区ごとに対応することとしたため、平成21年度は、本事業を実施しませんでした。	-	指導課
少年指導・育成事業	毎月20回前後街頭指導を実施し、不良行為少年等を早期発見し、声かけや相談により、非行の入口にいる少年達を更生させ、または非行化に歯止めをかけます。 【目標指標】 指導少年数【人】	犯罪少年の発生が予断を許さない現状にあることから、延べ825人の少年指導委員による若者の集まる店舗等を巡回する街頭指導や相談活動等により、少年の非行化に歯止めをかけ、青少年の健全育成を図りました。	A	指導課
心のふれ合い運動推進事業	教職員、保護者、地域住民が連携して学区内の巡回を行うことによって、児童生徒の非行防止と安全な地域づくりにつなげます。 【目標指標】 巡回指導実施率【%】	教職員、保護者、地域住民420人が、巡回指導を行い、児童生徒の非行防止と安全な地域づくりを目指す意識を高めました。	A	指導課
安全対策事業	交通安全指導時の事故やけが等により障害を被った場合、その補償のための保険に加入します。 【目標指標】 交通安全誘導ボランティアの人数【人】	児童の登下校の安全を守る233人の地域のボランティアの方々が、安心して活動できることにより、地域ぐるみで子どもの生命・安全を守りました。	B	指導課

<p>青少年育成青森市民 会議運営事業 (補助金)</p>	<p>本市の将来を担う青少年を健全に育てるために、青森市青少年育成市民会議に補助金を交付し、会員となっている各関係団体等が青少年健全育成に向けて、各種事業を展開することで、官民一体となつての青少年の健全育成を図ります。</p> <p>【目標指標】 青少年育成青森市民会議会員数 【人】</p>	<p>【事業内容】 ・青少年健全育成啓発チラシ配布(7月) 対象：小・中学生、町(内)会、会員 ・危険箇所看板作成配置(7月) 実績：7校、17枚 ・青森市青少年育成市民大会開催(11月13日(金)) 参加者数：101人 【補助金交付先・交付額】 青森市青少年育成市民会議(189,000円)</p>	<p>D</p>	<p>社会教育課</p>
<p>学校支援地域本部事業</p>	<p>学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることによって、子どもと向き合う時間が増える。学校や地域の教育活動が充実する。地域の教育力が向上する、などが期待されます。</p> <p>【目標指標】 ボランティアの活動日数(延べ) 【日】</p>	<p>【平成21年度実施地区】 ・中南地区(浦町小学校・浦町中学校・金沢小学校・戸山西小学校・戸山中学校) ・西北地区(三内西小学校・三内中学校・油川小学校・油川中学校・西田沢小学校) 【実施内容】 図書の本修・整理、登下校の安全見守り活動等</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課</p>
<p>家庭教育学級運営事業</p>	<p>就学児を持つ保護者や地域住民が望ましい家庭教育等について学習することにより、子どもに対するしつけや教育の心構え等を理解し、子育て上の悩みを解消します。</p> <p>【目標指標】 講座内容の満足度【%】</p>	<p>【平成21年度実績】 学級数：69学級 実施期間：4月～2月 実施場所：市内小・中学校</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課</p>
<p>うとう家庭教育学級 運営事業</p>	<p>知的障害児(者)や発達障害児を持つ親が共に協力し合いながら学習していくことで、それぞれの家庭が抱える課題を解決し、または解決への手助けとします。</p> <p>【目標指標】 学級生徒数【人】</p>	<p>【実施期間】5月～11月 【実施回数】7回 【実施場所】中央市民センター他 【学習内容】障害に対する理解など</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課</p>

<p>青森市子ども会育成 振興事業 (補助金)</p>	<p>子ども会の連合組織である青森市子ども会育成連絡協議会に補助金を交付し、子ども会育成者(指導者)の技術向上や情報交換の場を創設するとともに学年の異なる子ども達も一緒に活動できる機会の充実を図ります。</p> <p>【目標指標】 子ども会加入率【%】</p>	<p>【会員数】 3,799人 【子ども会数】75単会 青森地区、浪岡地区合計 【青森市子ども会育成連絡協議会の事業概要】 ・初級・中級リーダー研修 ・各種交流スポーツ大会 ・育成者研修会 ・青函子ども交流(子ども会交流)等 【補助金交付先・交付額】 青森市子ども会育成連絡協議会 (728,000円)</p>	<p>D</p>	<p>社会教育課</p>
<p>大井基金活用事業 (ものづくり・サイエンス体験事業)</p>	<p>子ども達が自然の様々な事象に触れ、感動的で不思議な体験や新鮮な驚きの機会が得られることで、科学への興味・関心が高まると共に、科学的なものの見方・考え方が生まれ、ひいては豊かな感性・創造力が育まれます。</p> <p>【目標指標】 参加者数【人】</p>	<p>【平成21年度実施内容】 7月25日(土) 26日(日) 浦町小学校体育館 8月8日(土) 浪岡中世の館 ホール ものづくり教室 (参加者数431人) 「不思議な万華鏡!」 「F1ダッシュ!」 「かんたん!?びっくりばこ」 ひとつのメニューを体験 サイエンス教室 (参加者数179人) 「静電気のお不思議!」 「液体と固体のお不思議!」 「空気のお不思議!」 全てのメニューを体験</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課</p>
<p>学校施設開放事業</p>	<p>地域住民が、学校の教育活動に支障のない範囲で、土日等の休日も含め、小・中学校の施設を借りてコミュニティ活動を行うことができるようにします。</p> <p>【目標指標】 総利用者数【人】</p>	<p>地域住民が学校施設を身近な学習施設として活用しようという意識が高まりました。</p> <p>【利用者数】 ・小学校 154,121人 ・中学校 58,271人</p>	<p>C</p>	<p>指導課</p>

<p>宿泊体験学習事業</p>	<p>浪岡中学校1学年生徒が自然の中での宿泊体験を通して、生徒相互及び教師との信頼関係や社会性の醸成を図ります。</p> <p>【目標指標】 事業に参加する生徒数【人】</p>	<p>実施日 7月13日(月)～15日(水) 13日：入所式、話し合い活動、レクリエーション(ドッチビー)、トーチ作りと夜の集い 14日：オリエンテーリング、野外炊飯、テント設営、キャンプファイヤー、テント宿泊 15日：創作活動(あけびづる、忍び駒、竹細工)、清掃活動</p>	<p>D</p>	<p>教育課</p>
-----------------	---	--	----------	------------

政策第2節：生活と地域を豊かにする生涯学習

施策1	生涯学習活動の充実	
施策の成果	学習を通して知識・技能や知恵を習得することにより、心豊かな人間性を育むとともに、その成果を地域社会に活かすことによって、地域が活性化されます。	
関連事業（6事業）の内部点検評価結果 A：4件（66.7%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：2件（33.3%）		評価
<ul style="list-style-type: none"> 概ね施策全体で大きな成果を上げている。 地域と児童生徒の触れ合いにつながる事業は、予算を検討し実施回数の増も検討する必要がある。 生涯学習は、広範に渡っているので、メニューを絞った特色ある事業の展開を検討する必要がある。 事業目的の達成状況を的確に評価できる目標指標にすることが必要である。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね良好である。 講座等への目標指標として参加者数で捉えることは当面大切ではあるが、延べ総数だけでなくリピーター数や年齢男女別参加者数のデータなども整理して、より住民のニーズに応えるよう改善する視点を重視して欲しい。 		

（資料）施策1 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
公民館企画運営事業 （浪岡中央公民館・地区公民館）	公民館事業及び地区公民館事業の企画運営を行います。 【目標指標】 延べ参加者数【人】	<p>【浪岡中央公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、青少年、趣味（絵手紙・手工芸・パソコン等）講座等参加者：1,762人 <p>【浪岡北中野公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、青少年、女性教育講座等参加者：1,160人 <p>【浪岡本郷公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、青少年、女性教育講座等参加者：330人 <p>【浪岡野沢公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、地域づくり（青少年・婦人・地域振興）講座等参加者：1,068人 <p>【浪岡女鹿沢公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、青少年（一輪車活動・児童活動）成人教育講座等参加者：5,347人 <p>【浪岡大杉公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、青少年、成人教育、趣味講座（ダンス・書道等）参加者：1,585人 	A	教育課

読書活動推進事業	読書団体の育成、支援、ボランティア活動の支援等により、子どもをはじめ、広く市民の読書活動の一層の推進を図ります。 【目標指標】 おはなし・読み聞かせ会の実施回数【回】	学校支援サービス ・授業支援...21校・38回(おはなし・読み聞かせ会を26回) ・移動図書館学校訪問9校10回 移動図書館紙芝居...6ヶ所 学校と公共図書館と地域を結ぶ読書懇話会 ブックスタート事業時の市民図書館利用者カードの発行(4ヶ月検診時) [青森市読書団体連絡会と共催] 風のはこんだおはなし会(地域編)(5ヶ所・親子) 風のはこんだおはなし会(学校編)(20校・小学生) おはなし・読み聞かせ講習会(年2回・地域ボランティア養成)	A	市民図書館
浪岡公民館まつり支援事業 (補助金)	市民全体が芸術・文化に親しむことを望み、浪岡公民館まつりを開催します。 【目標指標】 入場者数【人】	各団体の作品展示・地場産品販売・浪岡展覧会・ステージ発表等、実行委員が行う事業に対し補助金を交付しました。 【開催日】11月21日(土)～23日(月) 29日(日) 【来館者数】2,176人	D	教育課
社会教育団体支援事業 (浪岡中央公民館補助金)	社会教育活動を行うために、各種団体に対して財政的な援助を行います。 【目標指標】 社会教育団体の活動数【回】	地区公民館、冠婚葬祭合理化運動推進委員会、浪岡文化協会、浪岡青年団、浪岡連合婦人会が行う事業に対し補助金を交付しました。 【平成21年度補助金額・活動数】 ・地区公民館(5館): 970,000円、11回 ・冠婚葬祭合理化運動推進委員会: 49,000円、7回 ・浪岡文化協会: 195,000円、21回 ・浪岡青年団: 49,000円、72回 ・浪岡連合婦人会: 219,000円、71回	D	教育課

山の家活動事業	<p>豊かな自然の中で環境や伝統文化について体験学習を実施します。</p> <p>【目標指標】 山の家活動の参加者数【人】</p>	<p>自然体験、高齢者・青少年・成人・婦人教育等の参加者</p> <p>756人</p>	A	教育課
淡谷文庫資料整備事業	<p>多様な学習機会の提供を行い、貴重な地域資料に触れる機会とし、青森市だけが有している固有の資料情報を発信します。</p> <p>【目標指標】 展示入れ替え回数【回】</p>	<p>西部市民センター図書情報室の一角に淡谷コーナーを設け、郷土資料等の図書(約500冊)を展示しました。このほかに、緊急雇用創出事業の一環で一枚もの手書きメモなどの未整理資料のリスト化等を行いました。</p>	A	社会教育課

施策2	生涯学習支援システムの充実	
施策の成果	生涯学習活動により習得した知識・技能が地域に還元されるとともに、循環していくシステムが形成されます。	
関連事業（1事業）の内部点検評価結果 A：1件（100%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：0件（0%）		評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策全体で大きな成果を上げている。 ・ 図書館協議会は、図書館運営に関して、図書館長の諮問に応じるという役割だけでなく、広く図書館運営に関する意見や策定中の「第2次子ども読書推進計画」への意見を寄せてもらうことが期待されている。今後もアドバイスを積極的に提案してもらいたいが、形式的な協議会にならないよう留意する必要がある。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね良好である。各方面からの意見に耳を傾け充実を図って欲しい。 ・ 図書館運営に、協議会委員の意見や市民の声を取り入れている体制をさらに充実し、一層利用しやすい愛着のある市民図書館づくりに精進していただきたい。 		

（資料）施策2 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
図書館運営管理事業 （図書館協議会）	多分野から幅広い意見を取り入れ、市民ニーズに合った図書館運営サービスの展開を図ります。 【目標指標】 図書館協議会の開催数【回】	図書館協議会の開催 （委員10人）/2回 第1回 7月10日（金） 第2回 10月29日（木） 開催場所 市民図書館会議室	A	市民図書館

施策3	生涯学習施設機能の充実	
施策の成果	興味や関心などの知的欲求や健全な余暇利用が満たされ、生きがいのある人生を過ごすことができます。	
関連事業（7事業）の内部点検評価結果 A：5件（71.4%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：2件（28.6%）		評価
<ul style="list-style-type: none"> 概ね施策全体で成果を上げている。 図書館には、本の貸借の場所から年齢を超えた文化的な交流の場・学習の場として、一層の役割の発展、事業の拡大が期待される。 図書館運営管理事業は「魅力ある市民図書館」を目指し、様々な取組みを行ったが、入館者数が年々減少している実態を踏まえ、その原因を分析し、事業の見直しを図るとともに、関係部局と連携した広報活動の充実や利便性向上のための開館時間の延長、企画展の実施など工夫をこらした図書館機能の充実が必要である。 事業目標の達成状況を的確に評価できる目標指標にすることが必要である。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習拠点機能の充実が、やがては児童生徒に還元されるので、益々の充実に努めて欲しい。 図書館入館者数が減少しているようだが、考えられる原因を分析し、現在行っている事業を見直すとともに、他の課とも連携した広報活動の充実など、知恵やアイデアを出し合い学習施設としての機能の強化を図ってほしい。 		

（資料）施策3 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
図書資料整備事業	幅広い資料や情報を収集し、常に新鮮な多分野にわたる情報を提供することにより、市民の知的要求に応えます。 【目標指標】 市民図書館の蔵書数【冊】	館内事業 おひぎにだっこのおはなし会 （毎週金曜・0～3歳児と父母等） たのしいかみしばいのじかん （毎週土曜・幼児児童と父母等） 特別展示（児童） みんな大好き、わくわく絵本展等、8回の展示・貸出 季節展示（児童） 馬場のぼる作品展等、5回の展示・貸出 としょかんだより「おはなしはまほう」の発行（年4回） 太宰治生誕100年記念展示（一般・通年）	A	市民図書館

<p>図書館運営管理事業 (負担金)</p>	<p>図書館運営及び図書館サービスを実施していく上で指針となる重要な資料の提供や、図書館職員研修を受けることで職員の資質向上を図ります。</p> <p>【目標指標】 青森市読書団体連絡会加盟読書団体数【団体】</p>	<p>【負担金支払先・負担金額】</p> <p>日本図書館協会 (50,000円) 「図書館雑誌」(年12号)等 青森県図書館連絡協議会 (10,000円) 共通利用券の発行、会報「絆」 (2回) 研修会(1回/10月) 東青地区読書団体連絡協議会 (5,000円) 読書活動推進学習会及び研修会、 読み聞かせ活動者研修会各1回</p>	<p>A</p>	<p>市民図書館</p>
<p>図書館運営管理事業</p>	<p>図書館サービス業務の円滑化、効率化を図り、読書活動を一層推進します。</p> <p>【目標指標】 入館者数【人】</p>	<p>図書館ボランティア(ライブラリー・フレンズ)との共催事業</p> <p>21年度登録者数: 90人 おひざにだっこのおはなし会 (毎週金曜・0~3歳児と父母等) たのしいかみしばいのじかん (毎週土曜・幼児児童と父母等) 「さわる絵本」展(8月2日(日)~6日(木)) 障害者週間特別展示(12月3日(木)~8日(火)) 対面朗読(随時受付): 21年度実績 69回</p>	<p>D</p>	<p>市民図書館</p>
<p>館外貸出運営事業</p>	<p>市内全域的な図書館サービス網体制の充実を図り、図書館を直接利用できない方や図書館から離れている地域の方へ図書館サービスを提供します。</p> <p>【目標指標】 館外サービスにおける貸出冊数【冊】</p>	<p>各市民センターへの配本 11カ所 月2回 浪岡中央公民館 1カ所 月2回 貸出文庫(来館以外) 16カ所 月1回 貸出文庫(来館) 15カ所 月1回 学校配本 年4回(小学校17校、中学校1校)18校 移動図書館 市内35カ所 2週間1回 移動図書館冬期代替サービス BM6カ所、常設3カ所</p>	<p>A</p>	<p>市民図書館</p>

山の家運営管理事業	豊かな自然の中で環境や伝統文化について体験しつつ、地域の活性化を図ります。 【目標指標】 山の家利用者数【人】	・地域コミュニティ事業参加者 909人 ・一般利用 7,440人	D	教育課
公民館運営管理事業 (浪岡中央公民館・ 地区公民館)	公民館及び克雪館の運営管理を行います。 【目標指標】 公民館利用者数【人】	利用件数・利用者数 【浪岡中央公民館】 ・2,639件、57,745人 【浪岡北中野公民館】 ・208件、8,910人 【浪岡本郷公民館】 ・374件、12,445人 【浪岡野沢公民館】 ・207件、5,490人 【浪岡女鹿沢公民館】 ・670件、12,438人 【浪岡大杉公民館】 ・117件、2,665人	A	教育課
公民館分館併設集会所建設事業 (補助金)	町会が保有する公民館分館併設集会所が良好な状態で維持管理されることにより、地域レベルでのコミュニティ活動がこれまで以上に活性化する状態にします。 【目標指標】 分館併設集会所設置数【館】	<左堰分館> 小規模改修工事を実施しました。 (トイレの水洗工事、室内クロス張替工事) 【補助金交付先・交付額】 左堰町会 (3,211,000円)	A	社会教育課

政策第3節：豊かな感性を磨く文化・芸術

施策1	文化・芸術活動の充実
施策の成果	一人ひとりの生活はもとより、潤いに満ちた文化・芸術の薫り高いまちとなります。
関連事業（6事業）の内部点検評価結果	評価
A：4件（66.7%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：2件（33.3%）	
<ul style="list-style-type: none"> 概ね施策全体で成果を上げている。 文化・芸術活動に関する取組みとしては、特に浪岡地区の中世の館運営管理事業などにおいて、市民の主体的な活動が際立ち好評を博しているとともに、参加者も増加していることを評価する。 多様な文化芸術に触れる機会を増やすことによって、市民の文化、芸術に対する意識を高める必要がある。 事業目的の達成状況を的確に評価できる目標指標にすることが必要である。 	
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ねスムーズに実施され、貴重な機会を提供している。特に、児童生徒が文化・芸術に触れる機会があるというのは重要である。 事業に優先順位をつけ年次計画などで重点化し、メリハリをつけながら活性化することが大切だと考える。 	

（資料）施策1 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
中世の館運営管理事業 （文化振興事業）	郷土の歴史及び文化芸術に親しむ機会を提供し、もって歴史教育及び文化芸術の振興を図ります。 【目標指標】 入場者数【人】	平成20年度から指定管理者制度（～平成24年度）を導入。 指定管理者：特定非営利活動法人NPO 婆娑羅凡人舎 ・主な事業 （常設展示室・旧坪田家住宅） 浪岡城跡及び浪岡地区の歴史・民俗・文化財に係る展示 【入場者総数】1,218人 （必須事業） アフタヌーン・コンサート 【開催日】毎週第4土曜日（年10回） 【入場者数】866名 ナミオカ名画座 【開催日】8月29日（土）30日（日） 【入場者数】178名 一枚の美術館 中世の館収蔵の市所有美術品を月1回交換展示する。	A	教育課

		<p>(主な自主事業)</p> <p>中世の館ふれあいジャンボリー (5月3日(日)~5月5日(火))</p> <p>中世の館夏の祭典 (8月8日(土)~8月30日(日))</p> <p>県重宝旧坪田家住宅に学ぼう (8月4日(火))</p> <p>お月見コンサート (箏コンサート 10月3日(土))</p> <p>ふるさと歴史散歩(10月25日(日))</p> <p>浪岡城跡落城431年記念 「やぶこぎ大会」 (2月11日(木))</p> <p>本郷凧絵作品展 (3月10日(水)~22日(月))</p> <p>自主事業(11事業)</p> <p>【参加者総数】5,241人</p>		
大井基金活用事業 (美術・音楽コンクール開催事業)	<p>日頃の学習成果の発表の場を提供することで、学習意欲をより高めるとともに、中学生の参加や一般市民の鑑賞の機会を増やすことにより、文化芸術への関心を高めます。</p> <p>【目標指標】 参加者数【人】</p>	<p>平成21年度は「中学生美術展」を開催しました。</p> <p>対象：青森市内在住の中学生</p> <p>応募テーマ：「カーニバル・空想の世界・私と夢」</p> <p>内容：絵画(版画)・造形(彫刻・オブジェ)・デザイン</p> <p>表彰：特賞1点 金賞2点 銀賞3点 銅賞6点 入選10点</p>	D	社会教育課
小学生芸術鑑賞教室事業	<p>優れた芸術に感動することにより、人間性豊かな児童の育成環境を整えます。</p> <p>【目標指標】 総観覧者数【人】</p>	<p>事業形態：公演業務委託</p> <p>委託先：(株)東京音楽事業センター</p> <p>上演内容：中国青年雑技芸術団</p> <p>公演時間：約90分</p> <p>会場：中世の館ホール</p> <p>【開催日】7月16日(木)~17日(金)</p> <p>【参加児童・引率者数】1,153人</p>	A	教育課

<p>青森市中学校文化連盟活動事業 (補助金)</p>	<p>青森市中学校文化連盟が行う、各種の文化的事業の経済的負担を軽減することを目的に、補助金を交付します。 【目標指標】 各活動部会数【個】</p>	<p>10の専門部会(文学、合唱・音楽、美術、吹奏楽、技術・家庭、英語、演劇、伝統文化、生徒会・奉仕活動、理科)ごとに、発表会やコンクールの開催や調査・研究などの事業を行いました。 【補助金交付先・交付額】 青森市中学校文化連盟 (179,780円)</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課</p>
<p>浪岡舞台演劇公演支援事業 (補助金)</p>	<p>地域における舞台芸術の活性化及び人材育成を図るとともに、市民に心のゆとりをもたらす事業を支援します。 【目標指標】 観覧者数【人】</p>	<p>【公演名】「サクラサク」 【公演日】7月31日(金)、8月1日(土) 【公演場所】中世の館ホール (稽古等については、4月末から実施) 観覧者数(3公演分)468人 【補助金交付先・交付額】 浪岡舞台演劇公演実行委員会 (270,000円)</p>	<p>D</p>	<p>教育課</p>
<p>浪岡展覧会事業</p>	<p>地域住民が芸術に触れ、地域における芸術文化の振興と発展を図ります。 【目標指標】 作品出品点数【点】</p>	<p>浪岡公民館まつり事業と共催で実施し、優秀な作品に対して奨励賞を贈りました。 出品数内訳： 絵画37点、書道91点、 写真3点、刻字7点、手工芸81点、詩歌5点</p>	<p>A</p>	<p>教育課</p>

施策 2	版画文化の充実	
施策の成果	地域に根ざした文化・芸術として、伝統的な版画文化が次代に継承されるとともに、新たな技法を用いるなどの版画文化の創造が図られます。	
関連事業（1 事業）の内部点検評価結果		評 価
A：0 件（0%） B：0 件（0%） C：0 件（0%） D：1 件（100%）		
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成できなかった。 ・伝統的な版画文化を次世代に継承する上で、棟方志功賞版画展の果たす役割は大きいことから、今後とも展示の仕方などを工夫し活性化を図る必要がある。 ・版画は青森市では個性的で、歴史的な背景をもっている文化であり、青森の児童生徒の版画レベルは非常に高い。今後は、中・高校生も含めて版画の創作や優れた作品に触れる機会を多くし、新たな技法による版画文化の創造にも努める必要がある。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県における版画文化というのは、世界に誇れる特別なものなので、創作や優れた作品に触れる機会を多くして欲しい。 ・棟方志功賞版画展の応募作品数は減っているようだが、児童生徒数及び図画工作や美術の時間数の減少もある。この作品展の伝統的な版画文化を次世代に継承する役割は大きい。今後とも、展示の仕方を工夫するなどして盛り上げて欲しい。 		

（資料）施策 2 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
大井基金活用事業 （棟方志功賞版画展 開催事業）	<p>版画の製作を通して、児童生徒の技術及び創造性の向上と版画芸術に対する理解を深めるとともに、広く市民に対して棟方志功の偉業を伝承します。</p> <p>【目標指標】 応募作品数【点】</p>	<p>応募総数：8,173 点</p> <p>応募作品の表彰： 棟方志功賞 3 点 金賞 40 点 銀賞 60 点 銅賞 90 点 入選 824 点</p> <p>～版画展開催～</p> <p>【開催日】平成 22 年 2 月 6 日 （土）～ 8 日（月）</p> <p>【開催場所】市民美術館</p> <p>【展示作品】入選以上 1,017 点</p>	D	社会教育課

施策3	伝承・伝統文化の保存・継承	
施策の成果	郷土の伝承・文化への誇りと愛着が培われ、地域ならではの特性を有する文化が次代へ引き継がれます。	
関連事業（4事業）の内部点検評価結果		評価
A：0件（0%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：4件（100%）		
<ul style="list-style-type: none"> ・施策内の全ての事業で目標を達成することができなかった。 ・青森市の伝承・伝統文化の保存と次世代への継承のためにも工夫しながら取り組む必要がある。特に青森市PTA連合会ねぶた運行支援事業は、次世代を担う小・中学生のねぶた体験の場としてとても重要であり、青森市PTA連合会の動きやすい形で今後も支援していく必要がある。 ・郷土の伝承・伝統文化を知るための入口であるねぶた祭について、学校の音楽の授業等でねぶた囃子の楽器演奏（学校にある楽器で）をしたり、ねぶたやお囃子の歴史について学ぶ機会を設けることを通して、他の伝統芸能や地域文化についても興味を持てるような環境を整備する必要がある。 ・事業目的の達成状況を的確に評価できる目標指標にすることが必要である。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業ともに成果を得るには非常に困難ではあるが、継続して欲しい。 ・4事業の評価がすべて「D」ということで、伝承・伝統文化の保存・継承の難しさを感じられる。資料の展示・公開、出前展示や出前授業、さらに貸し出しの方法などを見直し、文化財の有効活用を活性化して欲しい。 		

（資料）施策3 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
青森市PTA連合会 ねぶた運行支援事業 （補助金）	ねぶた運行事業を通して、伝統ある郷土文化を継承する心、郷土愛の醸成及び児童生徒の健全育成を図ります。 【目標指標】 参加者数【人】	【事業実施期間】8月2日（日）、3日（月）、4日（火）、6日（木）（4日間） 備考：運行に青森市内児童生徒1,696人、父母640人と市内中学校の少年非行防止チーム「JUMP」4校が参加しました。（北海道檜山管内各町会児童約80人、市内高校生を中心に組織されている「人権擁護の会」は、約20人が参加） 【補助金交付先・交付額】 青森市PTA連合会 （4,442,000円）	D	社会教育課

<p>伝統文化こども教室 開催支援事業</p>	<p>伝統文化を体験することで、子ども達の地域の歴史、民俗、風習などに対する関心や郷土に対する理解を深めるとともに、尊重する心を育て、豊かな人間性の涵養を図ります。</p> <p>【目標指標】 採択団体割合【%】</p>	<p>【平成 21 年度申請団体の実施内容】 生け花、ねぶた囃子、獅子踊り、日本舞踊、茶道、華道、詩吟等</p> <p>【平成 21 年度採択団体数】 14 団体（15 団体中）</p>	<p>D</p>	<p>社会教育課</p>
<p>文化財資料展示活用 事業</p>	<p>地域文化の継承と教育・文化の振興に寄与するため、旧稽古館が所蔵していた資料及び埋蔵文化財資料などの貸出しや、公共施設等での展示・公開を実施し、貴重な文化財資料の有効活用を図ります。</p> <p>【目標指標】 民俗資料の展示・公開事業の見学者数【人】</p>	<p>・出前展示 10 件（小・中学校 5 件、青森日本語クラブ、荒川市民センター、空間舎、国際芸術センター青森、国際文化交流クラブ）</p> <p>・博物館等への貸出し 19 件</p> <p>・移動縄文展開催 6 回</p>	<p>D</p>	<p>文化財課</p>
<p>伝統文化保存伝承活動支援事業 （交付金）</p>	<p>郷土の伝統文化の保存と地域文化の発展に寄与するため、民俗芸能の保存団体における伝承活動や、後継者の確保・育成を支援します。</p> <p>【目標指標】 啓発普及事業参加者数（吉野田獅子踊保存会）【人】</p>	<p>【保存伝承活動実績】</p> <p>・十和田名水まつり、浪岡野沢小学校（学習発表会、活動支援（6 回）獅子踊り引継ぎ式）浪岡野沢地区文化祭、ゆうゆう荘まつり</p> <p>【交付金交付先・交付額】 吉野田獅子踊保存会 （45,000 円）</p> <p>・1 市 2 制度の見直しにより、平成 21 年度で制度自体を廃止し、事業は終了しました。今後は、保存伝承を側面支援します。</p>	<p>D</p>	<p>文化財課</p>

施策4	文化財の保存・活用	
施策の成果	郷土の歴史・文化に対する誇りと愛着が培われ、貴重な文化財が次代へ引き継がれます。	
関連事業（16事業）の内部点検評価結果（事業未実施3件）	A：9件（56.25%） B：4件（25%） C：3件（18.75%） D：0件（0%）	評価
<ul style="list-style-type: none"> 概ね施策全体で成果を上げている。 文化財の保存・活用については費用対効果だけでは計れない価値があることから、支援も含め長く継続して取り組んでいかなければならない。特に本市の貴重な小牧野遺跡をはじめ縄文遺跡群の世界遺産登録を目指していくためにも、県並びに関係団体一体となった取り組みが必要である。 貴重な文化財の発掘、整備が数多く行われている内容を積極的に市民に伝えていくことが必要である。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね適正に実施されている。本県の人づくりに欠かせない事業なので、更なる充実に努めて欲しい。 諸遺跡の発掘調査が限られた予算の中で、地道に行われていることをまずは評価したい。文化財の保存にも、様々な課題があるであろうが、旧戸門小学校を収蔵施設として活用したり、小牧野遺跡見学者のため環境を整備したり、現地見学会などのPR活動も含め、市民が気軽に文化財に触れる機会を充実することが望まれる。 縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す活動には、県並びに関係団体等とも一体となって頑張っていたきたい。 		

（資料）施策4 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
文化財保護事務	市内の文化財の保護・保存のため、定期的なパトロールを実施するとともに、その所有者等に対して必要な指導・助言を行います。 【目標指標】 指定文化財件数【件】	・市指定文化財等の現状変更の許可件数 9件 ・カモシカ保護のための出動回数 2回 ・市指定文化財・ゆかりの地碑・歴史街道の碑及び説明板のパトロール調査 14回	A	文化財課
埋蔵文化財整理作業場管理事務	発掘調査により出土した遺物類の分類・整理作業を行い、これら資料を保管するための施設を維持管理します。 【目標指標】 出土遺物保管数【箱】	・出土遺物等整理を行いました。石江遺跡群、野尻館遺跡、その他遺跡 ・調査報告書を各300部作成し配布しました。 石江遺跡群（3分冊） 葛野（3）遺跡 長溜池遺跡 市内遺跡 （主な配付先）県内教育委員会、博物館等、大学附属図書館等、調査員、調査指導員、協力員等	C	文化財課

小牧野遺跡整備事業	<p>国史跡である小牧野遺跡を適切に保存し、更には、憩いと歴史学習の場として活用するために、史跡公園として整備します。</p> <p>【目標指標】 小牧野遺跡見学者数【人】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遺構保護工事実施面積 424 m² ・環境整備工事実施面積 772 m² ・史跡指定地内公有化 535.29 m² (H20繰越) ・市民参加の史跡活用 「どんぐりの森をつくろう」学習会開催 	C	文化財課
埋蔵文化財保護事務	<p>埋蔵文化財包蔵地の周知を図るとともに、その保護に努め、土木工事等の届出があった場合には、適切な指導を行い、所管官署に進達します。</p> <p>併せて、発掘調査の成果などの情報を広く提供し、埋蔵文化財保護の啓発を図ります。</p> <p>【目標指標】 土木工事等による発掘届出の受理件数【件】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・包蔵地照会件数 567 件 ・「いにしえ青森 vol.18」を 2,000 部作成し配布しました。(小牧野遺跡案内所、森林博物館等) ・遺跡台帳登録遺跡数 408 ヶ所 ・遺跡・文化財ホームページの運営「いにしえ青森」に「縄文遺跡群の世界遺産登録を目指して」を掲載し、内容も更新しました。 	A	文化財課
高屋敷館遺跡環境整備事業	<p>国史跡である高屋敷館遺跡を、郷土の歴史学習の場として、また、見学者に親しまれるような史跡公園として保存・整備します。</p> <p>【目標指標】 環境整備工事累計面積【m²】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遺構盛土保護工事実施面積 3,418 m² 	B	文化財課
森林博物館企画運営事業	<p>これまで、児童生徒や一般者を対象に郷土の自然に親しむ事業を実施してきましたが、平成 19 年度から施設の運営が指定管理者へ移行したことに伴い、指定管理者からの多様な事業の提案により、企画事業を実施します。</p> <p>【目標指標】 入館者数【人】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節コーナー展示(春・夏の薬用植物写真展ほか)実施回数 11 回 ・自然森林教室 実施回数 4 回 参加者数延べ 291 人 ・子ども自然探検クラブ 全 3 回 参加者数延べ 45 人 ・森林博物館ふれあいデー 7 月 18 日(土)~19 日(日) ・その他自主事業 実施回数 5 回 (植物画教室、講演会ほか) 	A	文化財課
浪岡城跡新館公有化事業	<p>浪岡城跡全体の保存整備のため、年次計画によって、浪岡城跡の新館地区の公有化を推し進めていきます。</p> <p>【目標指標】 公有化累計面積【m²】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公有化面積 平成 21 年度 買上げ 3 筆 5,274.10 m² 寄附 2 筆 234.04 m² (公有化事務は一部都市整備部用地課へ委託実施) 	B	文化財課

浪岡城跡検校館法面 復旧事業	長年の浸食により、崩落する危険があるため、史跡保護および斜面上の墓所を保護する観点から、緊急措置的に保護工事を実施します。 【目標指標】 保護工事対象面積【㎡】	・浪岡城跡検校館の傾斜面および水路（155㎡）を整備し、平成21年度で事業を終了しました。	A	文化財課
原因者負担発掘調査 事業 (県受託)	堤川広域基幹河川改修工事に先立ち、予定地内に所在する埋蔵文化財包蔵地の発掘調査を実施し、遺跡の記録保存し、埋蔵文化財の活用を図ります。 【目標指標】 発掘調査実施累計面積【㎡】	【野尻館遺跡】 ・調査期間 9月14日～10月28日 ・発掘調査実施面積 456㎡ ・出土遺物 5箱	B	文化財課
浪岡地区文化財管理 事業	文化財の管理業務を適正に行なうことにより、郷土の歴史教育の普及・振興を図ります。 【目標指標】 管理面積【㎡】	・環境整備業務として浪岡城跡公園等の草刈を委託しました。 ・県重宝「旧坪田家住宅」の雪おろし業務委託は、小雪のため委託しませんでした。	A	教育課
石江遺跡群発掘調査 事業 (土地区画整理事業)	石江土地区画整理事業に係る造成に先立ち、予定地内に所在する埋蔵文化財包蔵地の発掘調査を実施し、遺跡の記録保存を図り、地域社会の埋蔵文化財活用に資することを目的とします。 【目標指標】 発掘調査実施累計面積【㎡】	・事業期間 平成21年4月1日～平成22年3月31日 ・発掘調査実施面積 34,409㎡ ・発掘調査対象地区 高間(1)、高間(6)、新城平岡(2)ほか ・出土遺物数 162箱 ・現地見学会を2回実施しました。(7月、8月) ・調査報告書を300部作成し配布しました。 (主な配付先) ・県内教育委員会、博物館等、大学附属図書館等、調査員、調査指導員、協力員等	B	文化財課
市内遺跡発掘調査事業	市内の土地開発予定地内における、埋蔵文化財の分布及び試掘・確認調査、また、個人住宅の建築工事等に伴う本発掘調査を実施し、土地開発と埋蔵文化財保護との円滑な調整を図ります。 【目標指標】 年間開発行為調整件数【件】	・調査期間 平成21年4月1日～平成22年3月31日 ・試掘・確認調査数 10件(大字宮田字玉水ほか、延調査面積 583㎡) ・山城溜池遺跡等出土遺物調査	A	文化財課

遺跡発掘調査事業 (受託事業)	民間会社等の土木工事に先立ち、工事予定地内に所在する埋蔵文化財包蔵地内について、記録保存のための発掘調査を受託し、実施します。調査に係る費用は委託者の負担となります。 【目標指標】 発掘調査実施累計面積【㎡】	平成 21 年度は調査依頼がありませんでした。	-	文化財課
史跡見学者対策事業	小牧野遺跡及び高屋敷館遺跡の周知を図るとともに、史跡として適切に維持管理し、見学者への便宜を図ります。 【目標指標】 史跡見学者数【人】	・小牧野遺跡(見学者 2,944 人) 環状列石周囲の除草、通路の草刈、公有地内の樹木への薬剤散布(約 7,000 ㎡)、誘導標識(電柱広告)設置 24 基、仮設休憩室・仮設トイレ設置 ・高屋敷館遺跡(現在、遺構盛土保護工事中)史跡内の草刈、枝払い等(約 30,000 ㎡) ・石江遺跡群現地見学会を 2 回実施しました。(見学者 65 人) ・移動縄文展を 6 回開催しました。	C	文化財課
シナイモツゴ保護対策事業 (交付金)	市指定文化財(天然記念物)である又八沼のシナイモツゴを保護するため、その生息地周辺の環境を維持するとともに、管理団体の保護活動を支援します。 【目標指標】 シナイモツゴ生息数(定点観測平均値)【匹】	・又八沼巡視パトロールを 4 回実施しました。 【交付金交付先・交付額】 シナイモツゴを守る会 (40,000 円)	A	文化財課
葛野(3)遺跡発掘調査事業 (霊園整備事業)	八甲田霊園整備事業による土木工事に先立ち、工事予定地内の埋蔵文化財包蔵地について記録保存のための発掘調査を実施します。 【目標指標】 調査図面作成枚数【枚】	・発掘調査面積 第一次 平成 13 年 8 月 20 日 ~ 11 月 9 日 (面積 2,500 ㎡) 第二次 平成 14 年 7 月 1 日 ~ 11 月 8 日 (面積 8,024 ㎡) 第三次 平成 15 年 5 月 14 日 ~ 10 月 31 日 (面積 29,606 ㎡) 第四次 平成 16 年 6 月 28 日 ~ 10 月 22 日 (面積 9,758 ㎡)	A	文化財課

		<p>・平成21年度はこれまで未刊行だった発掘調査報告書を300部作成・配布し、予定していた事業は全て終了いたしました。</p> <p>(主な配付先)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内教育委員会、博物館等、大学附属図書館等、調査員、調査指導員、協力員等 ・報告書用の調査図面を100枚作成しました。 <p>検出遺溝(住居跡等)の縮尺平面図、出土遺物(土器等)の実測図</p>		
<p>長溜池遺跡発掘調査事業 (野尻本線道路整備事業)</p>	<p>浪岡野尻本線道路整備工事に先立ち、工事予定地内の埋蔵文化財包蔵地について、記録保存のため発掘調査を実施します。</p> <p>【目標指標】 発掘調査実施累計面積【㎡】</p>	<p>・発掘調査期間</p> <p>第一次 平成20年9月1日～平成21年10月15日 (面積429㎡)</p> <p>第二次 平成21年7月30日～9月11日 (面積197㎡)</p> <p>・報告書を300部作成・配布し、予定していた事業は全て終了いたしました。</p> <p>(主な配付先)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内教育委員会、博物館等、大学附属図書館等、調査員、調査指導員、協力員等 	A	文化財課
文化財審議会関係事務	<p>郷土の文化財の適切な保護と活用を図るため、市指定文化財としての指定や保存・活用方法などについて、専門家による調査・審議を行います。</p> <p>【目標指標】 文化財指定等件数【件】</p>	<p>平成21年度は審議する案件がなく、審議会を開催しませんでした。</p>	-	文化財課

<p>文化財資料保管施設 改築事業</p>	<p>既設の市所有施設を対象とし、貴重な文化財資料等が防犯・防災・劣化防止などの適切な環境下で保管・収蔵できるよう改築し、資料等の保護並びに活用に供します。</p> <p>【目標指標】 保管施設への収蔵点数【点】</p>	<p>【保管施設収蔵予定資料所管課関係部局打合わせ会議等の開催】 通学区域再編に伴う新城地区3校の利活用に関する関係部長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月29日(火)(第1回) ・11月6日(金)(第2回) ・12月22日(火)(第3回) ・12月25日(金)民俗資料・淡谷文庫・市史編さん資料・美術品等を一括収蔵する施設として、旧戸門小学校を改修する旨を市長に報告し了承を得ました。 <p>〔収蔵予定：約235,000点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年1月21日(木)戸門小学校を文化財等の収蔵施設として活用する旨を地元町会に説明し了承を得ました。 <p>【予算要求】 改修工事詳細設計委託費を予算要求し、平成22年度に設計業務を委託することとしました。</p>	<p>-</p>	<p>文化財課</p>
---------------------------	--	--	----------	-------------

施策5	文化・芸術施設機能の充実		
施策の成果	優れた文化・芸術作品を鑑賞することなどにより、文化・芸術活動に対する機運が醸成されます。		
関連事業（2事業）の内部点検評価結果 A：1件（50%） B：0件（0%） C：1件（50%） D：0件（0%）			評価
<ul style="list-style-type: none"> ・施策全体では計画に及ばなかった。 ・森林博物館や中世の館が、青森市のシンボリック文化として、より多くの市民に活用されるためにはどうしたらよいかを話し合い、関係機関とも連携した広報活動や、知恵及びアイデアをたくさん出し合うことにより、文化施設若しくは文化交流施設としての機能の強化を図ることが必要である。 ・事業目的の達成状況を的確に評価できる目標指標にすることが必要である。 			
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好である。指定管理者制度が導入されているが、事業の目的や展開に影響が出ないように留意して欲しい。 ・両施設とも指定管理制度が導入されたようだが、その効果を検証し、より多くの市民に活用されるように支援して欲しい。 			

（資料）施策5 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
森林博物館運営管理事業	郷土の自然と森林、また、旧営林局の歴史を中心に、本市の歴史・文化を知ることのできる施設として森林博物館を運営管理します。 【目標指標】 入館者数【人】	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度から指定管理制度（～平成23年度）を導入。 指定管理者：青森県森林組合連合会 ・主な施設保守点検等実施（再委託） <ul style="list-style-type: none"> 消防設備保守点検 給排水衛生設備保守点検 自家用電気工作物点検 清掃業務 警備業務 一般廃棄物収集運搬業務 	A	文化財課

<p>中世の館運営管理事業（施設管理運営事業）</p>	<p>郷土の歴史及び文化芸術に親しむ機会を提供し、もって歴史教育及び文化芸術の振興を図ります。</p> <p>【目標指標】 施設利用者数【人】</p>	<p>・平成 20 年度から指定管理者制度（～平成 24 年度）を導入。 指定管理者:特定非営利活動法人 NPO 婆娑羅凡人舎</p> <p>・主な施設保守点検業務(再委託)</p> <p>環境整備業務（刈払いほか）</p> <p>冷暖房設備点検</p> <p>自家用電気保守点検</p> <p>移動観覧席点検</p> <p>消防用設備点検</p> <p>空調機保守点検</p> <p>ホール音響設備点検</p> <p>舞台吊物装置点検</p> <p>収蔵庫空調設備保守点検</p> <p>収蔵庫ガス燻蒸業務</p> <p>機械警備業務</p> <p>ピアノ調律業務</p>	<p>C</p>	<p>教育課</p>
-----------------------------	---	---	----------	------------

政策第4節：だれもが親しめるスポーツ・レクリエーション

施策1	スポーツ・レクリエーション活動の充実	
施策の成果	スポーツ・レクリエーション活動を通じて、だれもが生涯にわたり健康で明るく、活力ある生活を送ることができます。	
関連事業（8事業）の内部点検評価結果 A：2件（25%） B：1件（12.5%） C：1件（12.5%） D：4件（50%）		評価
<p>・施策内の事業の半数が目標指標に達しなかった。スポーツ・レクリエーションは広く多くの人に参加することが望まれるが、参加状況は芳しくなかった。今後、その要因をさぐるとともに底辺拡大のためのさらなる工夫や広報活動が求められる。</p> <p>・特に青森市の特色である冬のスポーツのカーリング等については、集客や人気を考慮し、助成事業を見直すとともに、小学生のみならず将来への展望から中学生、高校生への取組みが期待される。</p> <p>・事業目的の達成状況を的確に評価できる目標指標にすることが必要である。</p>		
<p>（学識経験者）</p> <p>・各競技種目人口の底辺拡大に貢献している。特に、カーリング人口の底辺拡大に今後も努めて欲しい。</p> <p>・いずれの事業も、大会参加者数が目標指標をクリアできていないものが多い。その原因がどのあたりにあるのか、新規参加者の掘り起こしを目指した広報活動の充実や大会及び各教室のあり方並びに指導者研修の充実なども含めた、各競技種目団体の自主運営能力の向上にむけた支援が一層求められるのではないかと。</p>		

（資料）施策1 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
青森県体育指導委員協議会事業 （負担金）	体育指導委員を活用することにより、スポーツの普及振興はもとより、健康増進を図ります。 【目標指標】 指導種目数【種目】	【負担金支払先・負担金額】 青森県体育指導委員協議会 （14,400円）	A	社会教育課
青森市スポーツ少年団本部活動事業 （補助金）	各種スポーツ団体、各種スポーツ大会の中で、市のスポーツ振興に資する事業に対し助成していきます。 【目標指標】 市フェスティバル開催数【回】	【補助対象フェスティバル】 軟式野球フェスティバル ミニバスケットフェスティバル サッカーフェスティバル ソフトボールフェスティバル 冬季フェスティバル 【補助金交付先・交付額】 青森市スポーツ少年団 （184,000円）	B	社会教育課

カブ・バンビ卓球大会開催事業	卓球の技術レベルが未熟な低年齢層の選手が、大会の参加に向けた練習を通して、レベルの向上と底辺の拡大と意欲の向上を図ります。 【目標指標】 大会参加者数【人】	【対象】 小学校1、2年生(バンビ) 3、4年生(カブ) 【開催日】2月20日(土) 【開催場所】新青森県総合運動公園(青い森アリーナ) 【平成21年度参加者数】 170名 バンビ 男3人、女7人 カブ 男56人、女104人	D	社会教育課
小・中学校カーリング普及事業	「カーリングの街あおもり」を実現するため、子ども達がカーリングに触れる機会を増やし、子ども達のカーリング技術の向上を推進します。 【目標指標】 小学生カーリング教室及び小・中学生カーリング大会の参加者【人】	教室 【開催期間】11月中旬から12月中旬まで 【開催場所】青森市スポーツ会館 【対象】市内小学校の6年生 【参加者数】794人(市内15校) 大会 【開催日】 小学生 12月12日(土)、13日(日) 中学生 1月11日(月) 【開催場所】青森市スポーツ会館 【対象】市内小学生及び中学生 【参加者数】 小学生130名(30チーム) 中学生24名(6チーム)	C	社会教育課
スキースロープ設置助成事業	冬期間の体力向上を図り、雪を楽しむ体験ができるようにすることで、冬のスポーツ振興の基盤形成を図ります。 【目標指標】 スキースロープ設置校数【校】	【対象】各小学校に設置する「スキースロープ設置運営委員会」 【助成範囲】スキースロープ設置奨励費 【助成額】20,000円/校 【助成校数】26校	D	社会教育課

<p>浪岡地区体育大会支援事業 (補助金)</p>	<p>青森市浪岡地区の町会を単位とする対抗戦により、地域住民の健康と交流を図る事業を支援します。 【目標指標】 球技・運動会大会参加者数【人】</p>	<p>夏季大会(球技大会) 【開催日】7月19日(日) 【開催場所】浪岡体育館、浪岡総合公園ほか 【種目】ソフトボール、グラウンド・ゴルフ、卓球、バドミントン、ソフトバレーボール、ユニカール 秋季大会(運動会) 【開催日】8月23日(日) 【開催場所】浪岡総合公園 【種目】混合リレー、100m競走、障害物競走、50m競走、シャモジレース、綱ひきほか 総参加者数：1,877人 【補助金交付先・交付額】 浪岡地区体育大会実行委員会 (960,000円)</p>	<p>D</p>	<p>教育課</p>
<p>中世の里マスターズ駅伝大会支援事業 (補助金)</p>	<p>駅伝競技の開催及び競技者・団体の交流を通じて、スポーツの振興を図る事業を支援します。 【目標指標】 大会参加者数【人】</p>	<p>【開催日】9月27日(日) 【開催場所】浪岡地区内花岡丘陵(花岡公園周辺) 【参加団体】14団体 【参加者数】123名 【補助金交付先・交付額】 中世の里マスターズ駅伝大会実行委員会 (457,000円)</p>	<p>D</p>	<p>教育課</p>
<p>スポーツフェスティバル支援事業 (補助金)</p>	<p>軽スポーツを体験する機会を提供し、競技人口の拡大を図る事業を支援します。 【目標指標】 参加者数【人】</p>	<p>【開催日】10月11日(日) 【開催場所】浪岡体育館、浪岡総合公園ほか 【参加者数】220名 【補助金交付先・交付額】 浪岡地区スポーツフェスティバル実行委員会 (72,000円)</p>	<p>A</p>	<p>教育課</p>

施策2	競技力の向上		
施策の成果	各種スポーツ競技力が向上するとともに、青少年をはじめ多くのスポーツへの関心が高まり、スポーツ競技人口の拡大へつながります。		
関連事業（8事業）の内部点検評価結果 A：5件（62.5%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：3件（37.5%）			評価
<ul style="list-style-type: none"> 概ね施策全体で成果を上げている。 各種スポーツ大会への助成（負担金・補助金）は、スポーツ人口の増加やスポーツ競技力の向上につながっており、今後も青少年のスポーツへの夢と関心の高まりを願うためにも、特に体育デー、中体連、高等学校全国大会などの各事業への支援を継続していくことが必要である。 各種スポーツ競技力の向上のため、体育指導委員の指導力向上と充実を図る必要がある。 学校の部活動は、競技力の向上に貢献しているが、教員の負担軽減との調整が課題となっている。 事業目的の達成状況を的確に評価できる目標指標にすることが必要である。 			
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 円滑に実施されている。各種目ともに競技レベルは確実に向上している。 学校体育関連の諸事業への負担金や補助金の給付は、それぞれの大会運営を支え、競技力の向上に大いに寄与していると考えます。 学校体育以外の場合、体育指導委員が十分に活用され活かされる研修会なり講習会の充実が望まれる。したがって、「体育指導委員設置事業」の目標指標は、参加人数ではなく指導員一人当たりが指導した回数で評価して欲しい。 			

（資料）施策2 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
体育指導委員設置事業	<p>体育指導委員を研修会へ派遣、または自主研修させることにより、その指導・助言を受ける市民の技術が向上します。</p> <p>【目標指標】 研修会・講習会参加人数【人】</p>	<p>【現在の指導種目】</p> <p>野球、卓球、体操、水泳、バレーボール、バスケットボール、フォークダンス、スキー、ソフトボール、ラケットテニス、ボクシング、リズム健康体操、サッカー、カーリング、レクリエーションダンス、グラウンドゴルフ、ラージボール卓球、空手道、バドミントン、民踊、ニュースポーツ、クロスカントリースキー、ウォーキング、エアロビクス</p> <p>【指導委員数】 40人（青森地区30人 浪岡地区10人）</p>	A	社会教育課

<p>小学校体育デー開催事業 (負担金)</p>	<p>体育デーは、児童にとって大きなイベントの一つであり、期待と緊張の中で他校の選手との実力を確かめることができ、学区を越えて友好の輪を広めることができます。</p> <p>また、児童の間に広くスポーツの理解と関心を深めるとともに、積極的にスポーツを愛好する意欲を高め、併せて健康の維持を図ります。</p> <p>【目標指標】 実施種目数【種目】</p>	<p>【平成 21 年度実績】 大会名称 第 56 回青森市小学校体育デー 【開催日】6 月 26 日(金) 【開催場所】青森県総合運動公園 【協議種目数】10 種目 競技種目:ラジオ体操、走り幅跳び、ボール投げ、女子 100m、男子 100m、女子 800m、男子 1000m、女子リレー、男子リレー、ダンス 【参加校数】50 校 【参加児童数】2,738 人 【負担金支払先・負担金額】 青森市小学校長会 (100,000 円)</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課</p>
<p>青森市中学校体育大会夏季大会開催事業 (負担金)</p>	<p>日々の練習の成果を中体連において発揮させることにより、スポーツの振興のみならず、競技力の向上や生徒の自己研鑽とともに、集団行動をする際の規範意識の醸成を図ります。</p> <p>【目標指標】 実施種目数【種目】</p>	<p>【平成 21 年度実績】 大会名称 第 60 回青森市中学校体育大会夏季大会 【開催期間】6 月 20 日(土)～22 日(月) 【開催場所】 青森県総合運動公園ほか 【競技種目数】15 種目 競技種目:陸上、野球、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、卓球、ソフトボール、体操、新体操、柔道、剣道、サッカー、水泳、バドミントン、山岳 【参加校数】24 校(市立 21、青森山田中学校、青森明の星中学校、青森県立青森聾学校中学部) 【参加生徒数】8,999 人 【負担金支払先・負担金額】 青森市中学校体育連盟 (250,000 円)</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課</p>

<p>青森市中学校体育大会冬季大会開催事業 (負担金)</p>	<p>日々の練習の成果を中体連において発揮させることにより、スポーツの振興のみならず、競技力の向上や生徒の自己研鑽とともに、集団行動をする際の規範意識の醸成を図ります。</p> <p>【目標指標】 実施種目数【種目】</p>	<p>【平成 21 年度実績】 大会名称 第 50 回青森市中学校体育大会冬季大会 【開催日】2月13日(土) 【開催場所】青森市高齢者老人健康農園センター 【競技種目数】1種目 競技種目：クロスカントリー 【参加校数】4校 【参加生徒数】53人 【負担金支払先・負担金額】 青森市中学校体育連盟 (50,000円)</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課</p>
<p>中学校体育大会選手派遣事業 (補助金)</p>	<p>日々の練習の成果を県・東北・全国大会において発揮させることにより、スポーツの振興のみならず、競技力の向上や生徒の自己研鑽を図ります。</p> <p>【目標指標】 県・東北・全国大会への派遣選手数【人】</p>	<p>【平成 21 年度派遣実績】 全国大会 種目：陸上、サッカー、卓球、柔道、剣道、体操、水泳 会場数：7会場 合計人数：70人 交通費：4,672,240円 東北大会 種目：陸上、サッカー、バドミントン、ソフトテニス、柔道、剣道、体操、水泳 会場数：8会場 合計人数：137人 交通費：2,241,420円 県大会 種目：バスケットボール、バドミントン、柔道、体操 会場数：5会場 合計人数：121人 交通費：238,760円 【補助金交付先・交付額】 青森市中学校体育連盟 (7,152,420円)</p>	<p>D</p>	<p>社会教育課</p>

<p>中学校体育大会開催事業 (補助金)</p>	<p>中学校体育大会の大会を開催することにより、スポーツの振興のみならず、競技力の向上や自己研鑽を図ります。</p> <p>【目標指標】 開催大会数【回】</p>	<p>【平成 21 年度実績】</p> <p>【補助金交付先】 青森市中学校体育連盟</p> <p>第 60 回青森県中学校体育大会夏季大会</p> <p>【開催期間】7 月 23 日(木)～25 日(土)</p> <p>【開催場所】青森県総合運動公園ほか</p> <p>【補助金額】1,000,000 円</p> <p>【競技種目数】15 種目</p> <p>第 39 回東北中学校卓球大会</p> <p>【開催期間】8 月 8 日(土)～10 日(月)</p> <p>【開催場所】新青森県総合運動公園(青い森アリーナ)</p> <p>【補助金額】50,000 円</p> <p>第 38 回若鷹旗争奪東北中学校野球大会</p> <p>【開催期間】8 月 8 日(土)～10 日(月)</p> <p>【開催場所】青森市営野球場、青森県営球場</p> <p>【補助金額】50,000 円</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課</p>
<p>県民体育大会参加事業 (負担金)</p>	<p>負担金により大会が円滑に実施されることによって、市のスポーツ振興を図ります。</p> <p>【目標指標】 県民体育大会の市の部順位【位】</p>	<p>【平成 21 年度実績】</p> <p>【開催日】8 月 1 日(土)、2 日(日)、8 日(土)、9 日(日)</p> <p>【実施競技数】市の部 18 競技 町村の部 17 競技</p> <p>【負担金支払先・負担金額】 第 64 回市町村対抗青森県民体育大会三沢市実行委員会 (100,000 円)</p>	<p>D</p>	<p>社会教育課</p>

<p>高等学校全国大会選手派遣事業 (補助金)</p>	<p>補助金を交付することにより全国大会へ選手を派遣しやすい環境を整え、選手が全国大会に出場し他県の代表と競技することにより競技技術、体力の向上を図ります。</p> <p>【目標指標】 選手派遣補助回数【回】</p>	<p>【平成 21 年度補助実績】</p> <p>第 91 回全国高等学校野球選手権大会</p> <p>【補助金交付先・交付額】 青森山田高等学校 (800,000 円)</p> <p>【開催期間】8 月 5 日 (水) ~ 22 日 (土)</p> <p>【開催場所】兵庫県 甲子園球場</p> <p>男子第 60 回女子第 21 回全国高校駅伝競走大会</p> <p>【補助金交付先・交付額】 青森山田高等学校 (700,000 円)</p> <p>【開催日】12 月 20 日 (日)</p> <p>【開催場所】京都府 西京極総合運動公園</p> <p>第 88 回全国高校サッカー選手権大会</p> <p>【開催期間】平成 21 年 12 月 30 日 (水) ~ 平成 22 年 1 月 11 日 (月)</p> <p>【開催場所】東京都 国立競技場 他</p> <p>【補助金交付先・交付額】 青森山田高等学校 (800,000 円)</p> <p>第 89 回全国高校ラグビー大会</p> <p>【開催期間】平成 21 年 12 月 27 日 (日) ~ 平成 22 年 1 月 7 日 (木)</p> <p>【開催場所】大阪府 近鉄花園ラグビー場</p> <p>【補助金交付先・交付額】 青森県立青森北高等学校 (800,000 円)</p>	<p>D</p>	<p>社会教育課</p>
---------------------------------	--	---	----------	--------------

施策3	スポーツ・レクリエーション施設機能の充実	
施策の成果	だれもが生涯にわたり、年齢・体力・技術に応じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる環境が整います。	
関連事業（5事業）の内部点検評価結果		評価
A：4件（80%） B：0件（0%） C：1件（20%） D：0件（0%）		
<ul style="list-style-type: none"> ・概ね施策全体で成果を上げている。 ・スポーツ・レクリエーション施設は、どの施設も有効かつ積極的に活用されている。また、プールのない小学校の水泳授業に対する支援は継続していく必要がある。 ・事業目的の達成状況を的確に評価できる目標指標にすることが必要である。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・レクリエーション施設は有効に活用されている。今後も継続して欲しい。 ・社会体育施設の年間利用者数の増加に伴い、夜間スポーツ広場の市東部方面での新たな開設も望まれる。 ・市スポーツ少年団事務局の登録団員数が増加している傾向は評価できる。ただし、実情は学校の部活動を兼ねている団体も多いと聞く。学校体育と完全に分離した、地域に根ざした活動としてのスポーツ少年団本来の自主運営ができるように更なる助言や支援を継続していく必要があると考える。 		

（資料）施策3 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
社会体育施設運営管理事業	多くの市民が気軽にスポーツに楽しむことで、健康の維持、増進を図ります。 【目標指標】 年間利用者数【人】	【平成21年度利用者数】 夜間スポーツ広場：2,737人 リバーランド沖館：23,083人 瀬戸子グラウンド：7,615人	A	社会教育課
スイミング支援事業	よりよい環境で水泳授業を行うことで、一層の健康増進を図ります。 【目標指標】 支援対象校数【校】	14の小学校は、水泳授業を通して児童の体力の向上を図り、水難防止の指導を行うことができるとともに、保護者の負担を軽減することができました。	A	指導課

浪岡体育館運営管理 事業 (指定管理事務)	スポーツ・レクリエーション施設 機能の充実を図るとともに、スポ ーツ・レクリエーションに親しむ 機会を提供します。 【目標指標】 本館及び別館利用者数【人】	平成 20 年度から指定管理者制 度(～平成 24 年度)を導入。 指定管理者:浪岡青い森スポーツ 協議会 ・主な施設保守点検業務(再委託) 環境整備業務(刈払いほか) 冷暖房設備点検 機械警備業務 自家用電気保守点検 消防用設備点検 ボイラー・空調機保守点検 昇降機保守点検 一般・特別清掃業務 ・自主事業 小学生陸上教室 (4月18日(土)～10月 31日(土)) 東北楽天イーグルス少年野球 塾(7月26日(日)) 指導者養成講習会 (11月28日(土)) 健康づくり元旦ジョギング (1月1日(金)) 軽スポーツ「ペタンク教室」交 流大会(3月22日(月))	A	教育課
体力テスト結果情報 収集・回答事務	6 歳から 79 歳までの市民を対象 に体力テストを行い、市民の体 力・運動能力の現状を明らかにし、 体力指標を定め、市民の体力の向 上に努めます。 【目標指標】 参加者数【人】	【平成 21 年度実績】 平成 21 年度体力・運動能力調査 (成年・高齢者)を実施しました。 【実施日】10月21日(水) 【実施場所】市民体育館 【実施回数】1回 調査割当人数 40人	C	社会教育課
青森市スポーツ少年 団事務局運営事業	スポーツ少年団の円滑な活動に資 するため、市が事務を行うことに より、登録団体の増加を図ります。 【目標指標】 登録団員数【人】	【平成 21 年度実績】 【登録団体】57 団体 【各種大会】軟式野球フェスティ バル・ミニバスケットボールフェ スティバル・サッカーフェスティ バル・ソフトボールフェスティバ ル・冬季フェスティバル	A	社会教育課

政策第5節：人の輪を広げる地域間交流

施策1	国際交流の充実	
施策の成果	それぞれの国の異なる文化・習慣に触れることにより、相互理解が深まるとともに、国際感覚が身に付きます。	
関連事業（1事業）の内部点検評価結果（事業未実施2件）	A：0件（0%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：1件（100%）	評価
<p>・「大井基金活用事業」と「青森市中学生海外派遣・受入事業」については、平成21年度の開催時期に新型インフルエンザが流行したことにより、それぞれ事業が中止となった。</p> <p>・「友好交流推進事業」は、交流回数が目標を下回ったことから評価は低かった。</p> <p>・国際交流は、児童生徒が異文化に触れ、理解し合える点で非常に重要である。特に中学生の多感な時期に外国を見聞したり、外国の中学生と交流し合うことは異文化理解にとどまらず人間形成に大きな成果をもたらすことができる。そのためにも単なる相互訪問から、接点を広げること、深めることも視野に入れながら派遣事業等の継続的な実施が必要である。</p>		
<p>（学識経験者）</p> <p>・国際化が進展している現状から、児童生徒が異文化に触れ、理解することが非常に重要である。今後も事業の継続・拡充を期待する。</p> <p>・昨年度は新型インフルエンザの流行等で、他国との国際交流ができなかったようだが、次代を担う青少年が、様々な形で異文化に直接的に触れる意義は大きい。と同時に、教員も含めた各分野の人材を、より広い視野をもったリーダーとして育てることも必要であると考えます。</p>		

（資料）施策1 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
大井基金活用事業 （少年海外生活体験事業）	異文化との交流を通じて国際理解とコミュニケーション能力を培い、次代を担う国際感覚を身につけた青少年の育成を図ります。 【目標指標】 国際交流活動参加(協力)者数【人】	平成19年度は平澤市派遣・青森市受入の相互交流をし、平成20年度は休止。平成21年度の事業は新型インフルエンザの流行により中止しました。	-	社会教育課
青森市中学生海外派遣・受入事業	本市の中学生と米国メイン州の中学生が相互に派遣受入を行い、語学学習の向上や親善交流を図ります。 【目標指標】 海外に派遣する中学生・引率者数【人】	平成21年度の事業は新型インフルエンザの流行により中止しました。	-	教育課

<p>友好交流推進事業</p>	<p>異文化を理解し、広い視野をもった人材を育成します。</p> <p>【目標指標】 交流回数【回】</p>	<p>ハンガリーの子ども達との作品交流等を通して、異文化に触れ、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めました。</p> <p>【作品送付回数】日本から2回、ハンガリーから1回</p>	<p>D</p>	<p>指導課</p>
-----------------	--	--	----------	------------

施策2	国内交流の充実	
施策の成果	類似の都市特性を有する地域に住む人々との交流を通じて、豊かな人間性や社会性が育まれ、広い見地が身に付くとともに、相互理解・友好が深まります。	
関連事業（1事業）の内部点検評価結果		評価
A：0件（0%） B：0件（0%） C：1件（100%） D：0件（0%）		
<ul style="list-style-type: none"> ・施策全体では計画に及ばなかった。 ・縄文文化の魅力をこれまで以上に広くPRするためには、どのように情報を発信すべきかなど、今後の活動を明確にしていく必要がある。 ・縄文遺跡群の世界遺産登録を目指していることから、関係都市との交流等で相互理解や友好を深めながら人間性や社会性を育てていくことが必要である。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線も開業することから、縄文文化の魅力をこれまで以上に発信し、多くの観光客が来県することを期待する。更なる事業の充実に努めて欲しい。 ・縄文都市交流事業でのホームページアクセス件数もさることながら、本市と様々な条件が似ているが、地域の活性化に成功している国内他都市との直接交流なども望まれる。 		

（資料）施策2 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
縄文都市交流事業	縄文遺跡を有する都市の交流と結束を図り、縄文の魅力や歴史的意義を広くPRするとともに、それぞれのまちづくりに活かします。 【目標指標】 ホームページアクセス件数【件】	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文シティサミット 【開催日】7月3日（金）4日（土） 【開催場所】北海道洞爺湖町 【参加自治体】12自治体 【参加者数】350人 ・ホームページに掲載している縄文都市連絡協議会に加盟している自治体（16自治体）の縄文遺跡等に関する掲載内容を更新しました。 	C	文化財課

4.まとめ

今回、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定に基づき、「教育委員会の責任体制の明確化」を図るため、教育委員会事務局が実施する青森市の学校教育や社会教育等に関する事務の管理及び執行状況について、学識経験者の幅広い見地からの貴重なアドバイスをいただきながら、「点検及び評価」を実施した。

総評としては、事務局の各事業の内部評価をもとにした教育委員会の3段階評価では「」と「」の割合が63.2%、「」が36.8%となり、概ね良好に事務が行われていると考えられる。しかしながら、市民の教育への関心は非常に高く、教育委員会の果たす役割と透明性の確保がますます問われていることから、説明責任を十分に果たすことと、さらなる真摯な事業への取組みをもって、積極的に市民の声に応えていかなければならないと考える。

そのためにも、各施策における事業の意義・目的を常に意識しながら、改善のための不断の努力を心がけ、引き続き長期的な展望に立った教育行政を推進していく必要がある。

各政策について評価と意見をいただいたことに対しては、以下の方向で今後対応して参りたい。

- ・「生きる力を育む教育環境」については、概ね高い評価だが、施策の「教育環境の充実」の面では事業の目標指標の設定が的確でなかったことから厳しい評価になっている。しかしながら施設設備や耐震化、給食運営事業など実質的に児童生徒の安全、安心、衛生面に十分配慮し事業を実施していることから、今後とも児童生徒のよりよい教育環境に向けた取組みを積極的に展開していく。
- ・「生活と地域を豊かにする生涯学習」については、生涯学習、図書館等の関係事業が着実に成果をあげつつあることから概ね高い評価である。さらに、今後の「第2次子ども読書活動推進計画」の策定や諸々の取組みへの期待も大きいことから、効果的な事業推進に引き続き努める。
- ・「豊かな感性を磨く文化・芸術」については、文化財の保存や活用、伝承・伝統文化の保存・継承など費用対効果だけでは図れない価値があることから、支援も含め長く継続して取り組んでいくことが求められる。今後とも事業の理念・目的を明確に打ち出し、市民の理解を十分に得ながら着実に事業を推進していく。
- ・「だれもが親しめるスポーツ・レクリエーション」については、広く多くの人がスポーツ・レクリエーションに参加することが望まれるが、参加状況は芳しくなかった。今後その要因をさぐるとともに、底辺拡大に向けての工夫や広報活動のさらなる推進を目指して取り組んでいく。
- ・「人の輪を広げる地域間交流」については、異文化理解にとどまらず人間形成に大きな役割を果たすことができることから、全体的な内容の検討を図りながら目指す目的や方向性に沿って各事業を推進していく。

平成 2 2 年度
青森市教育委員会事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価報告書
- 平成 2 1 年度の実績 -

平成 2 2 年 1 1 月 1 8 日

編集・発行 青森市教育委員会事務局総務課
青森市柳川二丁目 1 番 1 号
TEL 017-761-4777